

令和5年(2023)度

学校（自己）評価報告書

豊中学校区

# 令和5年度 学校評価アンケート

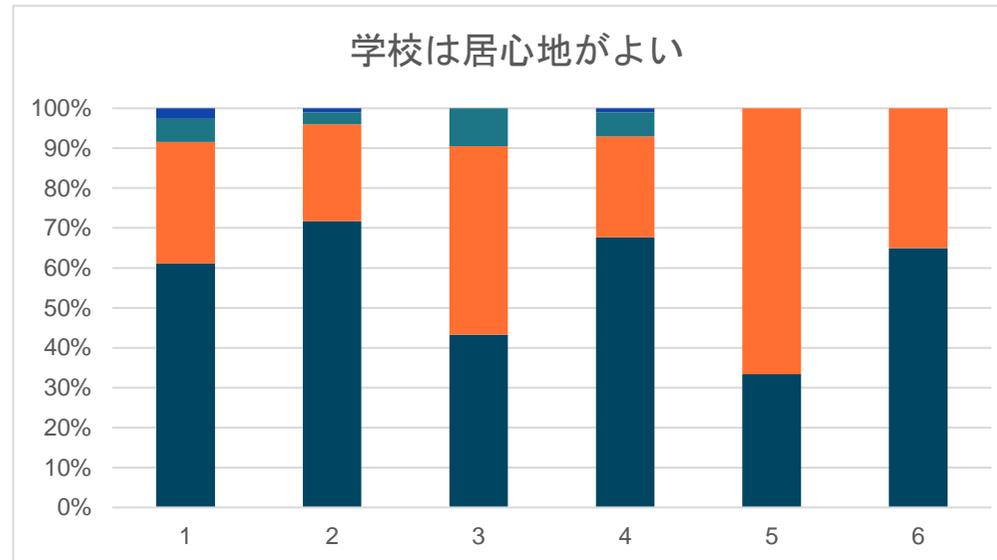


実施日時 12月4日～12月22日

実施人数	児童	保護者	教職員
	1年生 (35名) 4年生 (46名)	74名	21名
	2年生 (38名) 5年生 (39名)		
	3年生 (44名) 6年生 (37名)		

# お子さんは、学校の居心地はよいと感じている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	61%	71%	43%	67%	33%	65%
ややそう思う	31%	24%	47%	25%	67%	35%
あまりそう思わない	6%	3%	9%	6%	0%	0%
そう思わない	3%	1%	0%	1%	0%	0%

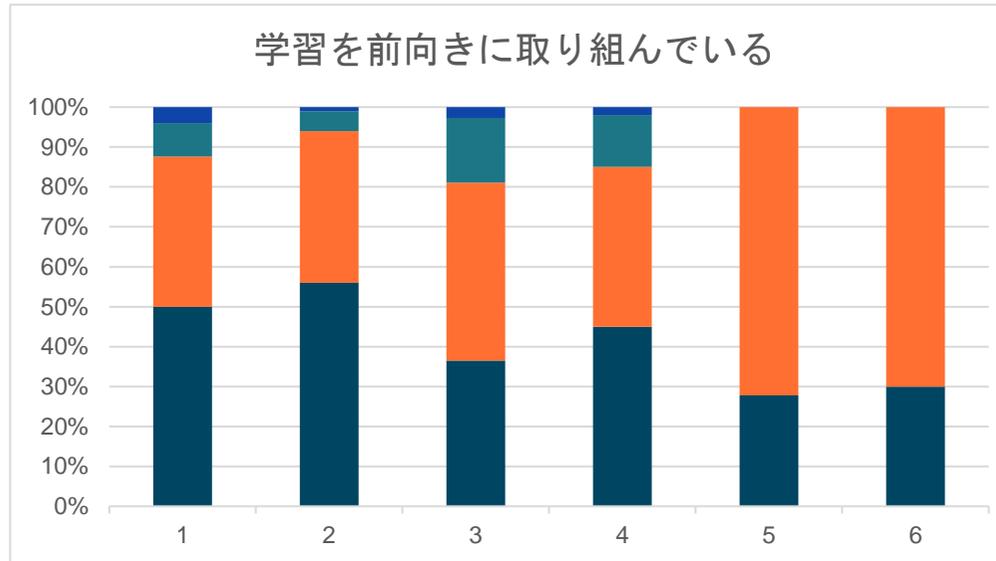


児童                    ポジティブ3ポイント減  
 保護者                ポジティブ2ポイント減  
 教職員                そう思う大幅減

今年度、「学校は楽しい」から、「学校は居心地がよい」と中学校区で文言の改善を行った。小学校段階においては、まだ浸透していない様子も見られる。昨年度に比べてポジティブ減から、どのような部分を改善すると居心地がよいか考察する必要がある。

# お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	50%	56%	36%	45%	28%	30%
ややそう思う	38%	38%	45%	40%	72%	70%
あまりそう思わない	8%	5%	16%	13%	0%	0%
そう思わない	4%	1%	3%	2%	0%	0%

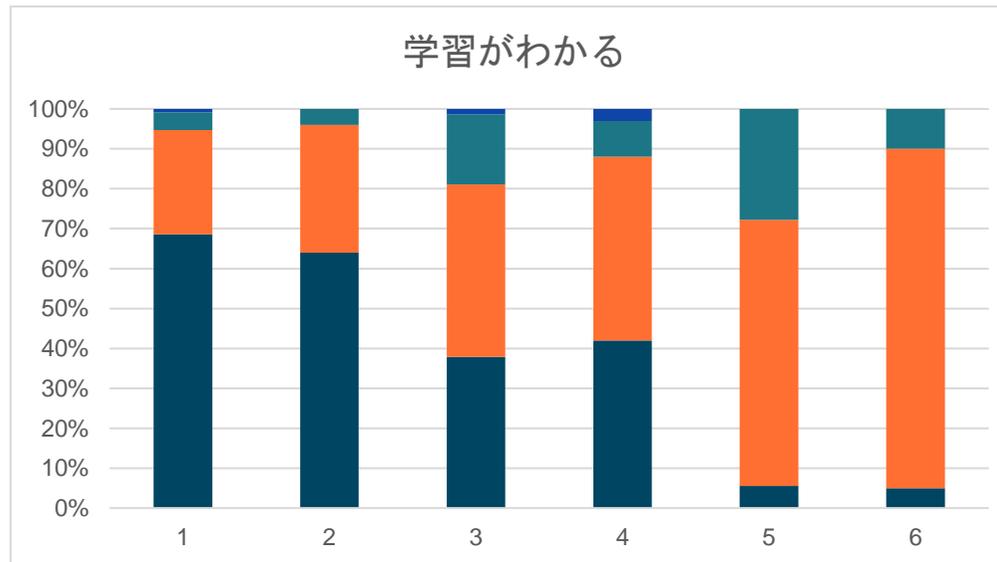


児童                    ポジティブ6ポイント減  
 保護者                ポジティブ4ポイント減  
 教職員

コロナ渦を経て、ようやく年間カリキュラム通りの学習を行うことができた。一部やらなければならない課題もあることから、精査が必要である。また、研修テーマが「探究学習」であり、研修と関連してさせて主体性の育成を目指したい。

# お子さんは、基礎的・基本的な学力が身についている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	69%	64%	38%	42%	6%	5%
ややそう思う	26%	32%	43%	46%	67%	85%
あまりそう思わない	4%	4%	18%	9%	28%	10%
そう思わない	1%	0%	1%	3%	0%	0%

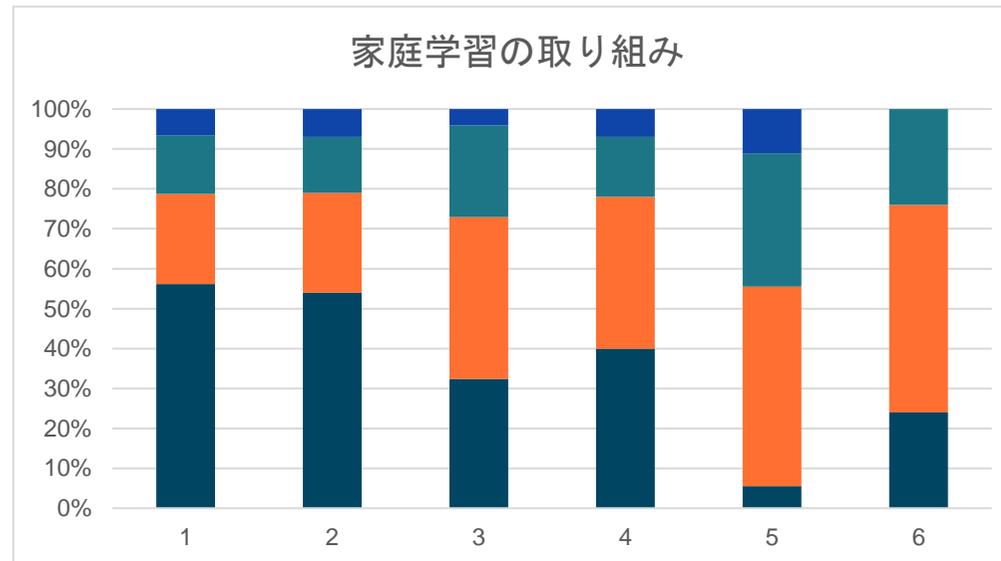


児童	そう思う5ポイント増
保護者	ポジティブ7ポイント減
教職員	ネガティブ18ポイント増

子どもたちからの学習内容がわかるという評価の増は普段の学習指導の一定の成果と考えられる。しかし、保護者・教職員の「理解してほしい」という部分との乖離があり、支援体制を含めた個に応じた学習内容の理解が必要である。

# お子さんは、家庭学習を行う習慣が身についている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	56%	54%	32%	40%	6%	24%
ややそう思う	23%	25%	41%	38%	50%	52%
あまりそう思わない	15%	14%	23%	15%	33%	24%
そう思わない	7%	7%	4%	7%	11%	0%

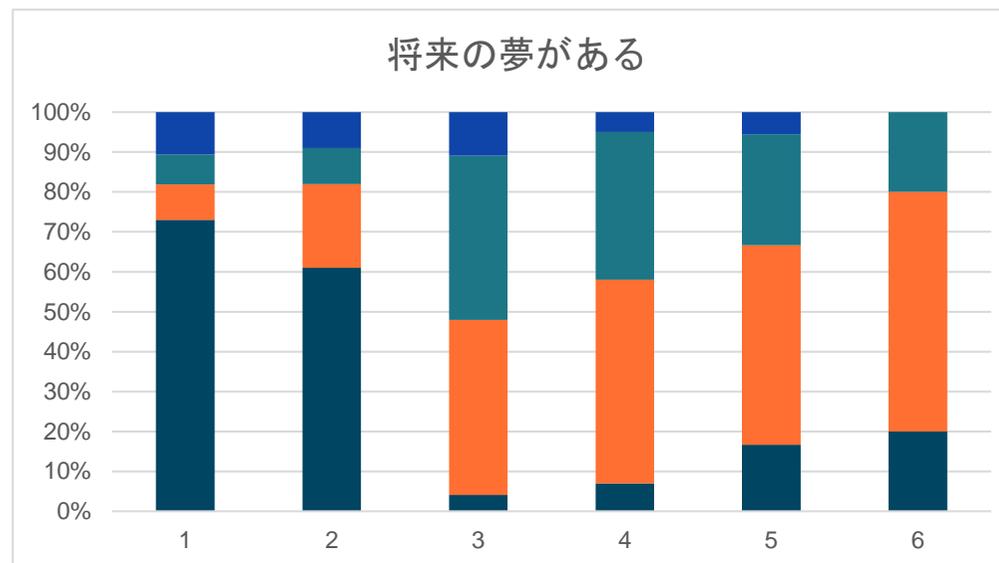


児童	ポイント増減なし
保護者	あまりそう思わない8ポイント増
教職員	そう思うの18ポイント減、そう思わないの増

子どもたちのアンケートの中でも、目標としている「学年×10分+10分」に到達できていないことがわかった。まずは、令和6年度はじめに家庭学習の啓蒙を変更をかけるとともに、まずは「学年×10分」の学習習慣の育成を図りたい。

お子さんは、「総合的な学習の時間」を通して、将来について考えることができている。

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	73%	61%	4%	7%	17%	20%
ややそう思う	9%	21%	44%	51%	50%	60%
あまりそう思わない	8%	9%	41%	37%	28%	20%
そう思わない	11%	9%	11%	5%	6%	0%

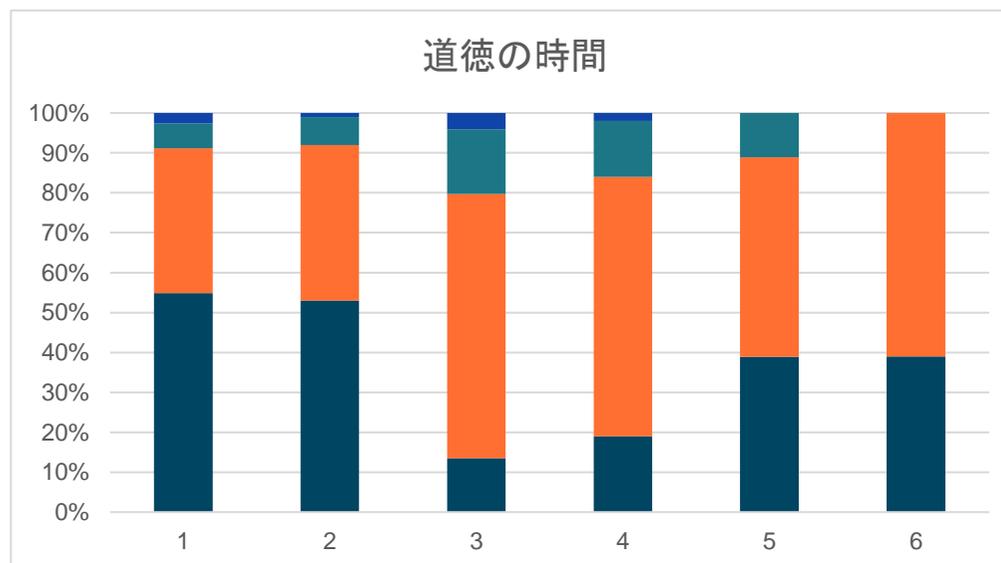


児童	そう思う12ポイント増
保護者	ポジティブ10ポイント減
教職員	ポジティブ13ポイント減

非常に低い項目であり、総合的な学習の時間との関連が図れていない現状である。高学年が参加した中学校のキャリア教育などの効果が見られるため、全校規模での拡大も視野に入れる必要がある。

お子さんは、「道徳」の時間に、互いの考えを交流することで自分の考えを深めている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	55%	53%	14%	19%	39%	39%
ややそう思う	36%	39%	66%	65%	50%	61%
あまりそう思わない	6%	7%	16%	14%	11%	0%
そう思わない	3%	1%	4%	2%	0%	0%

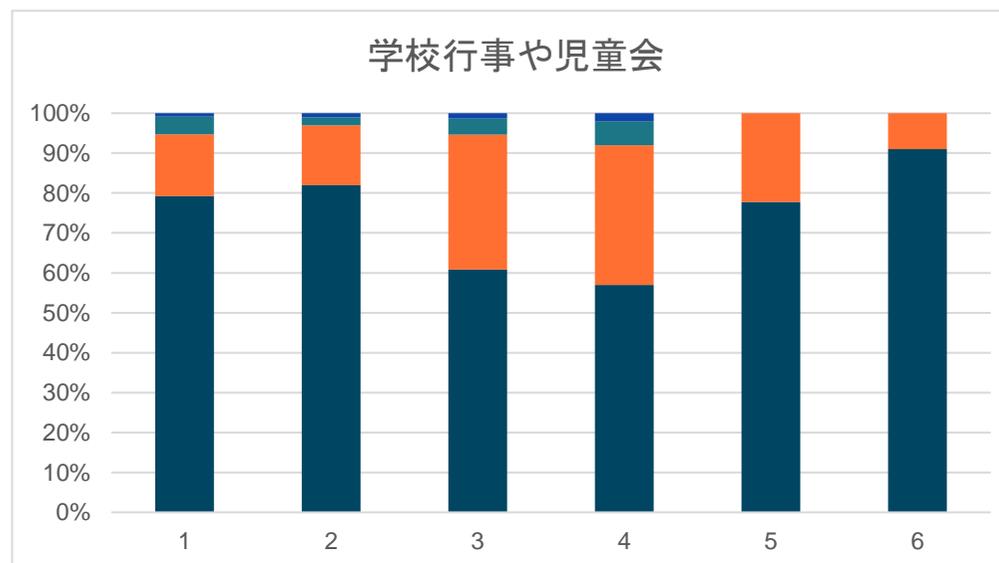


児童                    ポジティブ1ポイント減  
 保護者                ポジティブ4ポイント減  
 教職員                ポジティブ11ポイント減

対話を大切にしたい授業作りが浸透してきているが、深い考えに至る所に大きな課題がある。研修と連携しながら授業改善を進める必要がある。

## お子さんは、学校行事や児童会活動に積極的に参加している

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	79%	82%	61%	57%	78%	91%
ややそう思う	15%	15%	34%	35%	22%	9%
あまりそう思わない	4%	2%	4%	6%	0%	0%
そう思わない	1%	1%	1%	2%	0%	0%

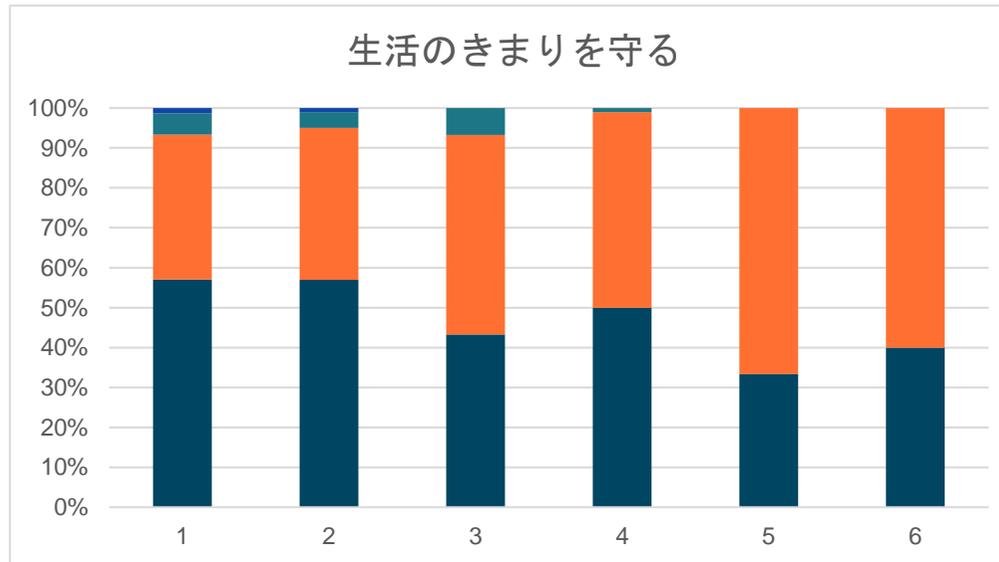


児童                    ポジティブ3ポイント減  
 保護者                ポジティブ3ポイント増  
 教職員

新型コロナの5類移行から、以前の学校行事・児童会活動ができるようになったことが大きな改善点となった。時間的な余裕がなくなっている現在、子どもたちの豊かな成長のための行事内容等の精選を図っていきたい。

# お子さんは、集団生活のきまりを守っている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	57%	57%	43%	50%	33%	40%
ややそう思う	36%	38%	50%	49%	67%	60%
あまりそう思わない	5%	4%	7%	1%	0%	0%
そう思わない	1%	1%	0%	0%	0%	0%

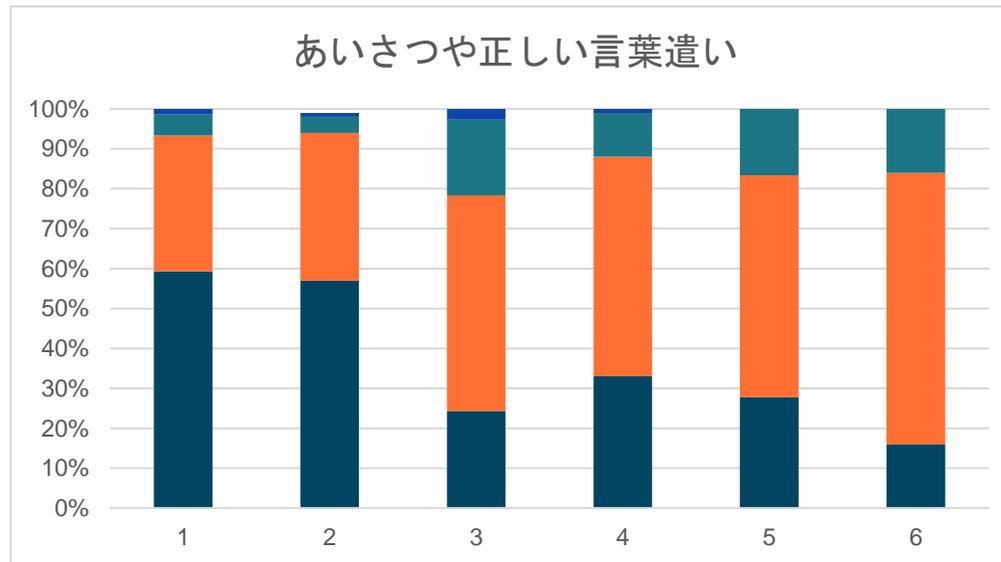


児童                    ポジティブ2ポイント減  
 保護者                ポジティブ6ポイント減  
 教職員                そう思う7ポイント減

今年度は、iPadの使い方等、中学校と連携が必要な部分が多く感じられた。中学校区としての生活のきまりを見直す時期に来ているのではないかと考えられる。

# お子さんは、時と場に応じた正しい挨拶や言葉遣いができる

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	59%	57%	24%	33%	28%	16%
ややそう思う	34%	37%	54%	55%	56%	68%
あまりそう思わない	5%	4%	19%	11%	17%	16%
そう思わない	1%	1%	3%	1%	0%	0%

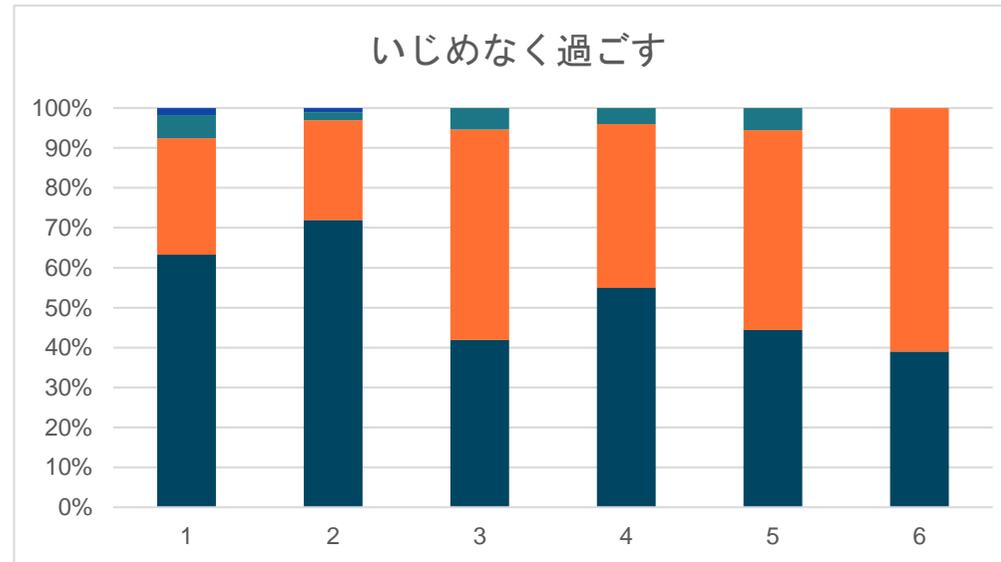


児童	そう思う2ポイント増
保護者	そう思う9ポイント減
教職員	そう思う8ポイント増

今年度の学校経営方針の中でも、あいさつ指導を重点として職員間で確認された。子どもたちが自ら進んであいさつすることができるようになってきたという様子を今後、保護者へ発信していく事が課題である。

お子さんは、思いやりの心もち、いじめのない望ましい人間関係を作っている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	63%	72%	42%	55%	44%	39%
ややそう思う	29%	25%	53%	41%	50%	61%
あまりそう思わない	6%	2%	5%	4%	6%	0%
そう思わない	2%	1%	0%	0%	0%	0%

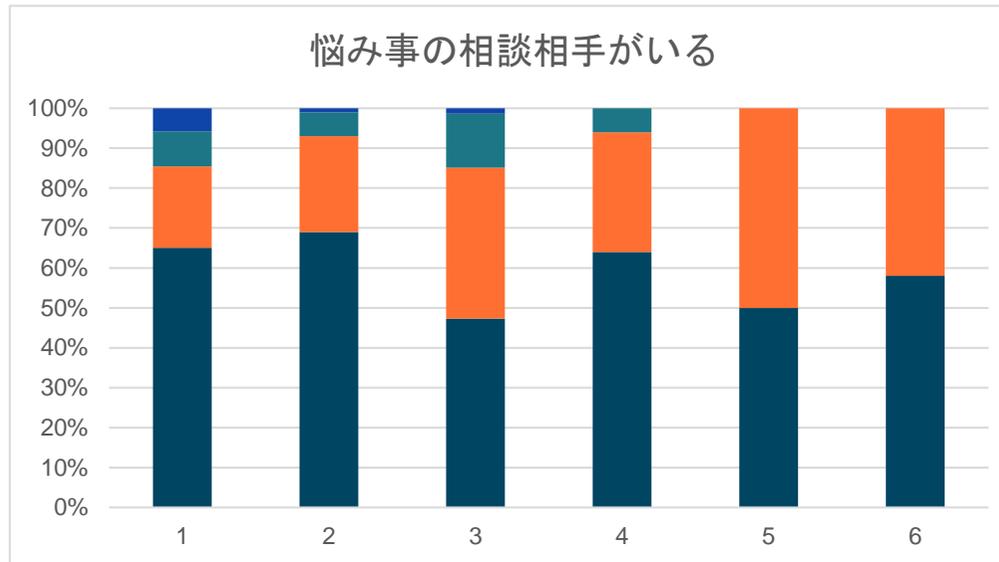


児童	ポジティブ5ポイント減
保護者	そう思う13ポイント減
教職員	あまりそう思わない6ポイント増

子どもたちのいじめ・いやな重いに対するネガティブイメージの増加が大きな課題である。「いじめはいけない」というだけではなく、事例を通して自分のできることを考えるなど、子どもたちが主体的な改善策を考察する必要性がある。

# お子さんには、悩みや相談事を打ち明けられる人がいる

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	65%	69%	47%	64%	50%	58%
ややそう思う	20%	24%	38%	30%	50%	42%
あまりそう思わない	9%	6%	14%	6%	0%	0%
そう思わない	6%	1%	1%	0%	0%	0%

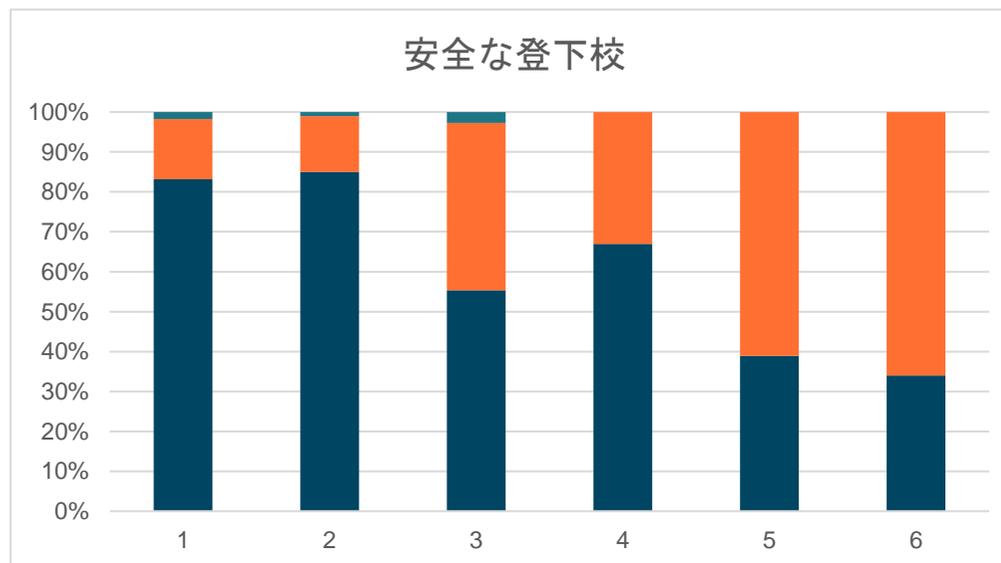


児童                    ポジティブ8ポイント減  
 保護者                ポジティブ9ポイント減  
 教職員                そう思うの8ポイント減

児童・保護者とも大きく下がっており、学校職員全体で子どもたちを支えていく必要性や、保護者だけではなく地域全体で子どもたちを支えていく土壌の必要性を感じる。

## お子さんは、交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	83%	85%	55%	67%	39%	34%
ややそう思う	15%	14%	42%	33%	61%	66%
あまりそう思わない	2%	1%	3%	0%	0%	0%
そう思わない	0%	0%	0%	0%	0%	0%



児童

保護者

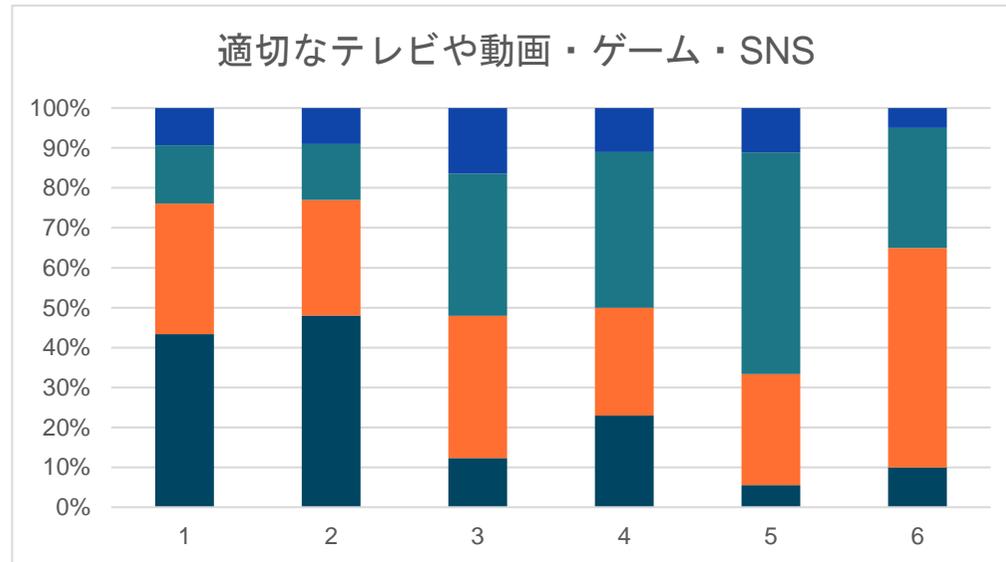
教職員

そう思う12ポイント減

子どもたちは安全であると考えていても、大人から見ると危険であるということが顕著にわかる結果となっている。今後も地域と連携をはかりながら、子どもたちの安全を見守ることの大切さを痛切に感じる。

お子さんは、テレビや動画視聴、ゲームやSNSのやり過ぎに注意し、規則正しい生活を送っている

	2023年度児童	2022年度児童	2023年度保護者	2022年度保護者	2023年度教職員	2022年度教職員
そう思う	43%	48%	12%	23%	6%	10%
ややそう思う	33%	29%	36%	27%	28%	55%
あまりそう思わない	15%	14%	36%	39%	56%	30%
そう思わない	9%	9%	16%	11%	11%	5%

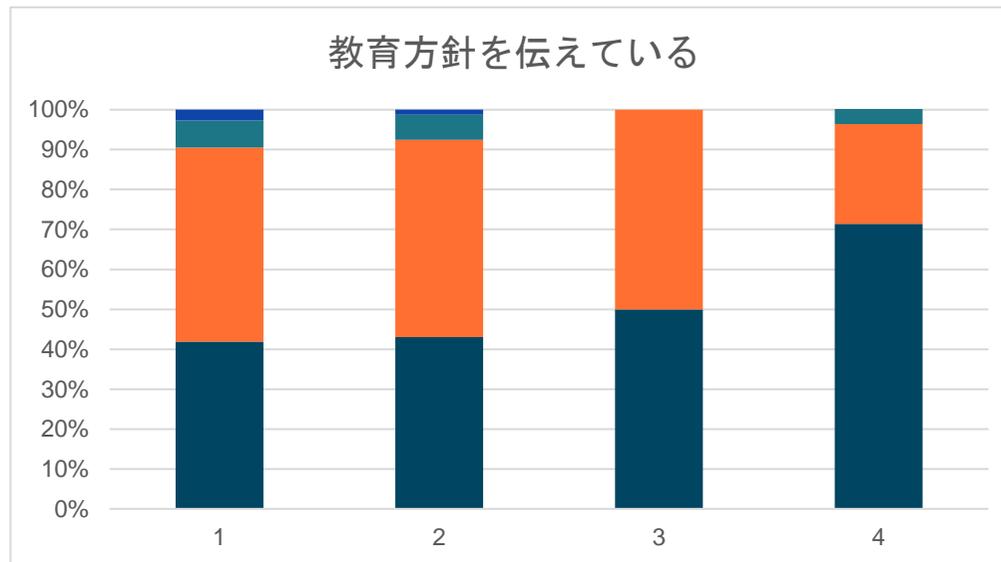


児童                   そう思う5ポイント減  
 保護者                そう思う11ポイント減  
 教職員                ポジティブ31ポイント減

家庭学習のために、タブレット端末の持ち帰りを推奨している。目や使用時間帯など、体の健康面の部分でも心配な結果となっている。「どこで」「どれくらいの時間」端末を使用しているか調査する必要性と家庭を含めた啓蒙が必要である。

学校は、教育方針を学校便りや保護者懇談でわかりやすく伝えている

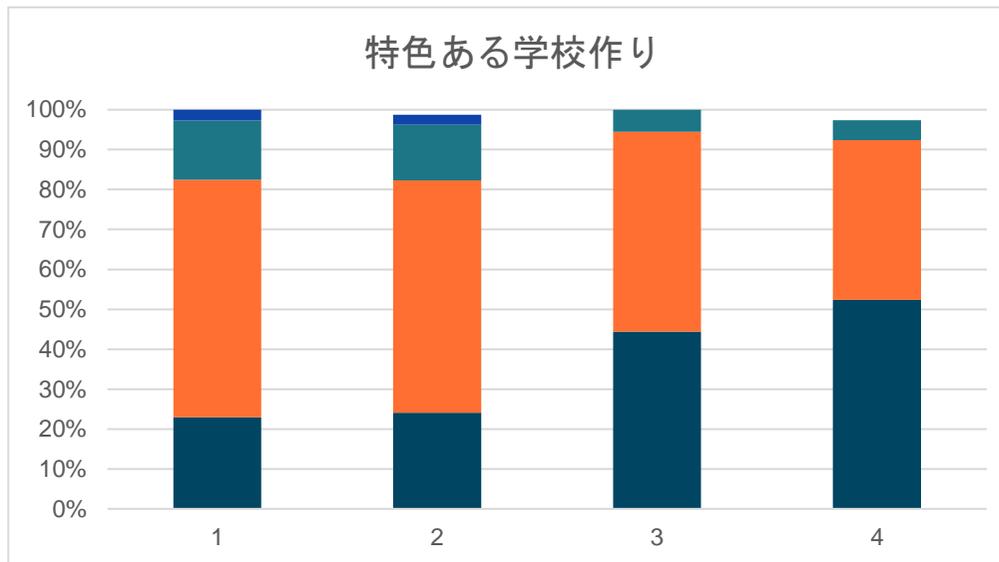
	2023年保護者	2022保護者	2023教職員	2022教職員
そう思う	42%	43%	50%	71%
ややそう思う	49%	49%	50%	25%
あまりそう思わない	7%	6%	0%	5%
そう思わない	3%	1%	0%	0%



今後もPTA総会、参観・懇談などを通してわかりやすく啓蒙していく必要がある。

学校は、保護者の願いを学校経営に反映し、特色ある学校作りを進めている

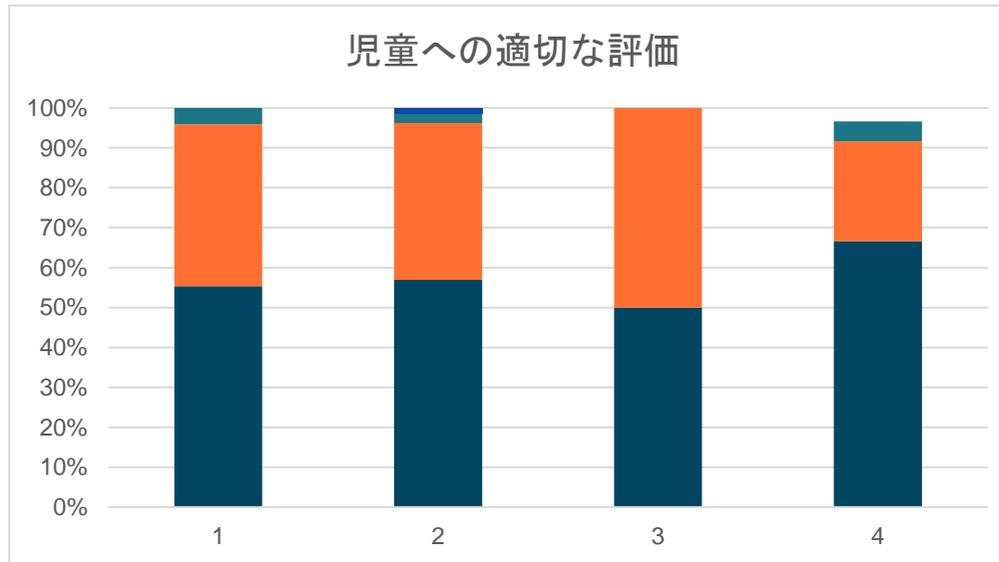
	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	23%	24%	44%	52%
ややそう思う	59%	58%	50%	40%
あまりそう思わない	15%	14%	6%	5%
そう思わない	3%	3%	0%	0%



幌向地区の伝統行事等、地域の方と連携しながら、今後ますますの発展を目指していく。

## 学校は、お子さんの学力や努力を適切に評価している

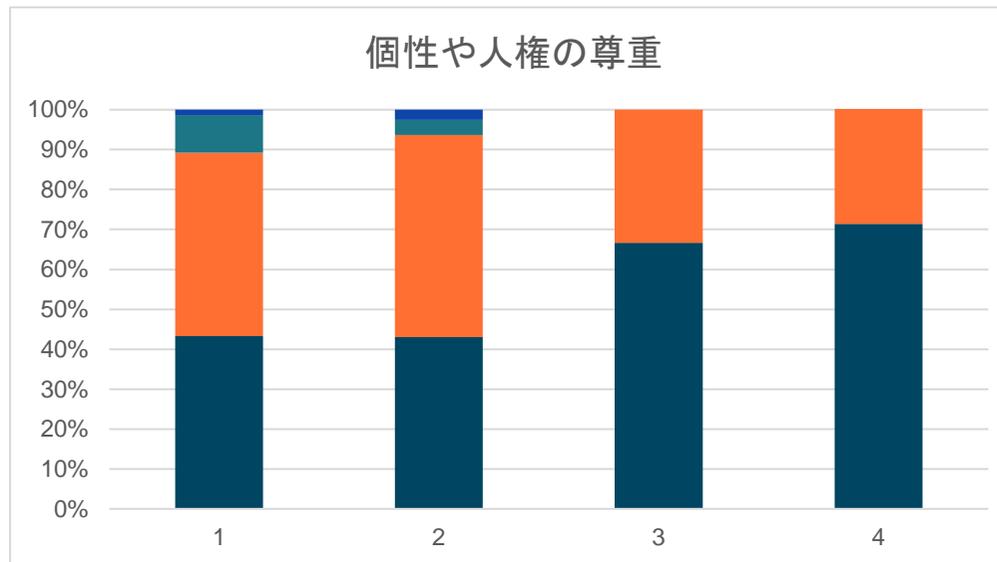
	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	55%	57%	50%	67%
ややそう思う	41%	39%	50%	25%
あまりそう思わない	4%	3%	0%	5%
そう思わない	0%	1%	0%	0%



あゆみの評価項目が変更になり3年目。どのように子どもたちを見取ることができたか、今後も小中連携し研鑽を積む必要がある。

学校は、お子さんの個性や人権を尊重する姿勢で指導にあたっている

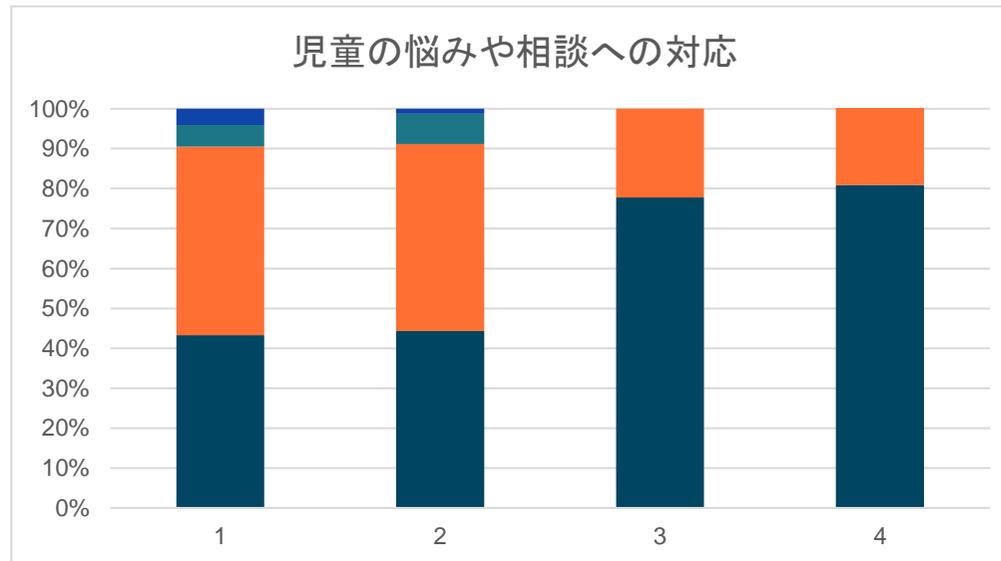
	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	43%	43%	67%	71%
ややそう思う	46%	51%	33%	30%
あまりそう思わない	9%	4%	0%	0%
そう思わない	1%	3%	0%	0%



集団生活の場として、どこまで個性を大切にできるか。また、個別最適な学習と共同的な学習の場の提供できるような今後も考え続けていかなければならないテーマである。

学校は、お子さんの悩みや相談に対してしっかりと向き合っている

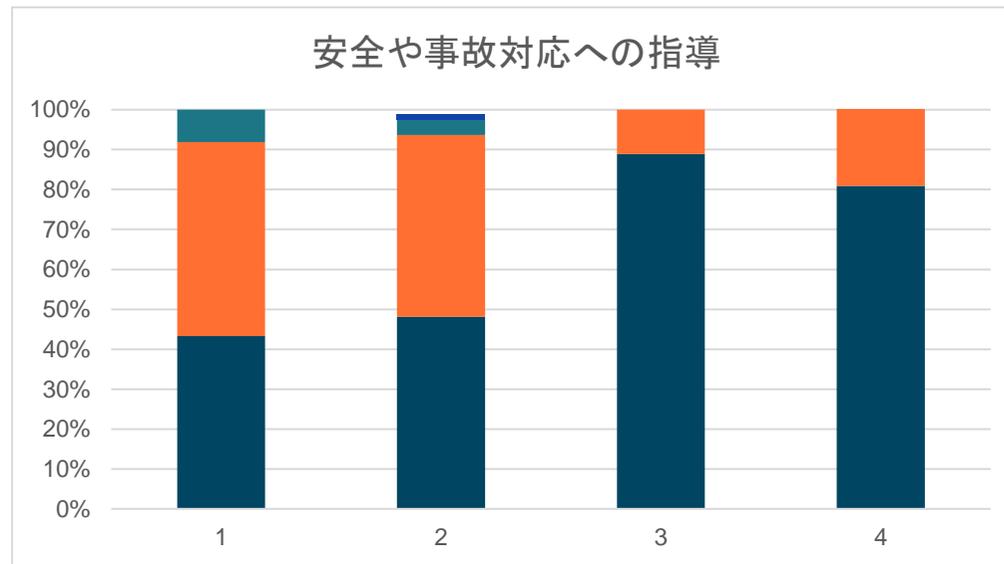
	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	43%	44%	78%	81%
ややそう思う	47%	47%	22%	20%
あまりそう思わない	5%	8%	0%	0%
そう思わない	4%	1%	0%	0%



担任、保護者だけに限らず全職員で子どもたちと見守る環境の整備や地域への働きかけが急務である。

## 学校は、安全や事故の未然防止を大切に指導を行っている

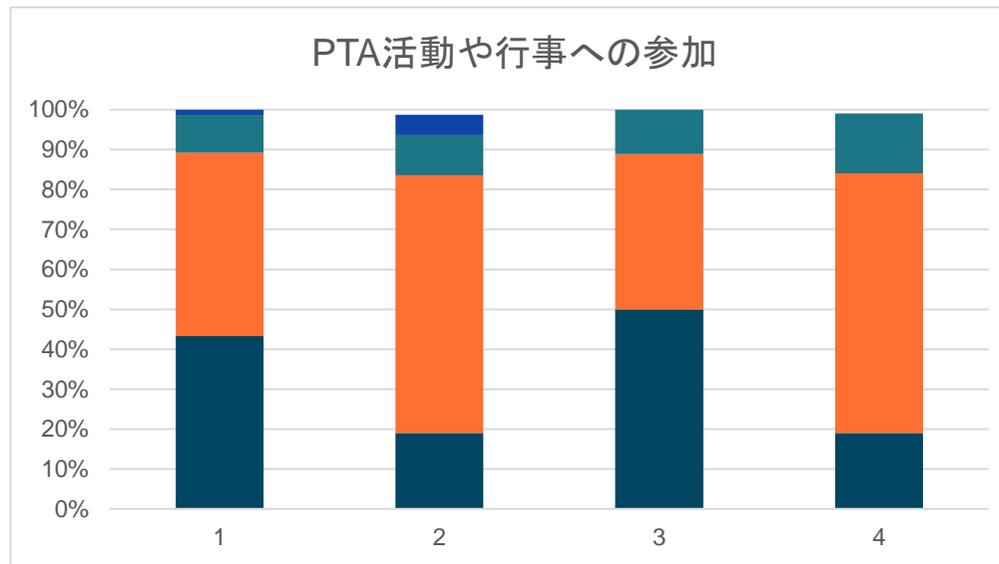
	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	43%	48%	89%	81%
ややそう思う	49%	46%	11%	20%
あまりそう思わない	8%	4%	0%	0%
そう思わない	0%	1%	0%	0%



地域・保護者の方から今年度も多くの安全に関わるご連絡をいただいた。今後も早急に対応できる態勢を整え、速やかに対応できるよう心がけていく。

学校は、PTA活動や行事等に保護者が参加できる機会を多く設けている

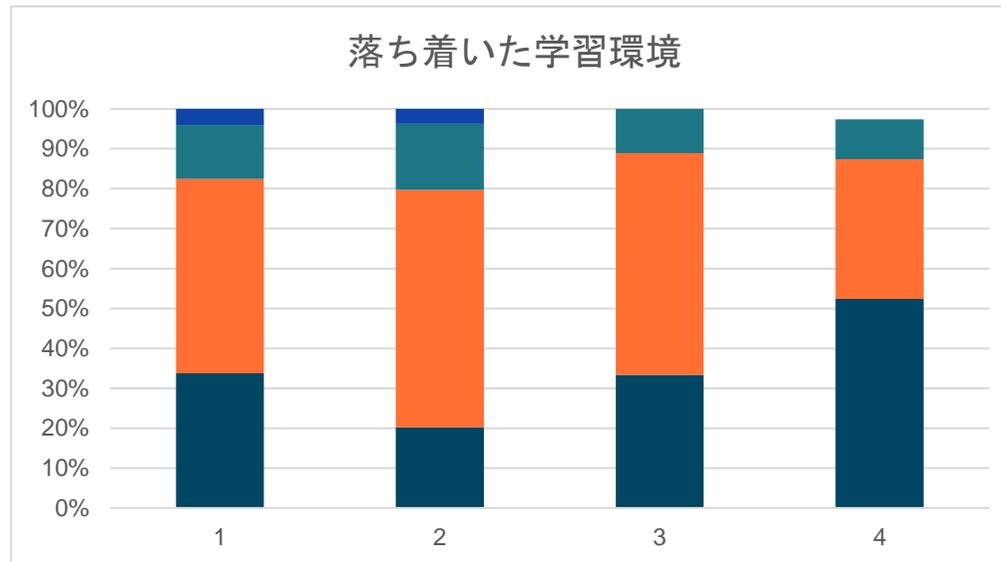
	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	43%	19%	50%	19%
ややそう思う	46%	65%	39%	65%
あまりそう思わない	9%	10%	11%	15%
そう思わない	1%	5%	0%	0%



新型コロナウイルス感染症が5類移行に関わり、大きく数値が変動した。よりよいあり方を今後も検討し、活動を推進していきたい。

## 学校はきれいで落ち着いた学習環境づくりに努めている

	2023年保護者	2022年保護者	2023年教職員	2022年教職員
そう思う	34%	20%	33%	52%
ややそう思う	49%	59%	56%	35%
あまりそう思わない	14%	16%	11%	10%
そう思わない	4%	4%	0%	0%



設備の修理改築等要望を伝えていくとともに、清掃活動などを継続して行う必要がある。

令和5年度

学校（自己）評価報告書

岩見沢市立幌向小学校

推進校	岩見沢市立幌向小学校							
学校長	保谷 剛					教職員数		27
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	1	2	2	2	2	2	5	16
児童数	33	36	41	42	38	36	9	235
住 所 電 話 FAX URL E-mail	岩見沢市幌向南2条1丁目180番地 0126-26-2100 0126-26-5207 <a href="http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/index.php/contents/item/1506527">http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/index.php/contents/item/1506527</a> <a href="mailto:horomuiv@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp">horomuiv@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp</a>							

## I 学校教育目標

- よく考える子  
自主的に学習し、よく考え創造する子どもを育成する。
- 明るくすなおな子  
明るくすなおで、思いやりのある、豊かな心の子どもを育成する。
- 元気でたくましい子  
ねばり強くやりぬく、たくましい子どもを育成する。

## II 学校経営方針(中期及び単年度の具体的目標)

### 1 学校経営の方針

令和5年度北海道教育委員会教育行政執行方針並びに岩見沢市教育行政方針

『子どもが輝く岩見沢の教育づくり』『よい地域』には「よい学校」があり、「よい地域」をつくることで「よい地域」が形成される～未来のトビウを拓く、教育のまち 岩見沢～をふまえ

R5 学校経営方針(基本的な考え)

あいさつ えがお おもいやり 学び深める幌向小  
～仲間とともに 安心できる学校で～

最上位の目標は 「子どもたちが社会でよりよく生きていけるよう、生徒エージェンシーを育成するため『よい学校を創る』こと」

生徒エージェンシーとは、経済協力開発機構(OECD)が重視する概念。直接の訳語が無い国が多いが、日本は文部科学省が「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲」のことだと説明している。参照：学びの地図、学びの羅針盤

## ■学校経営のコンセプト

①「教えて考えさせる授業」理念を基盤とした「子どもと創る授業」へのシフトチェンジ  
～授業「改善」を進めるとともに「質的転換」を図る授業づくりへの挑戦～

・チョーク&トークでの講義調の授業や、教師と児童が一問一答式でやり取りする授業など、旧態依然とした知識伝達型授業に終始するスタイルを一掃。いかに「教え伝える」かよりも、いかに「引き出し、編み合わせる」場を創り出していかかという「ファシリテーター型」の教師の育成を通じ、「子どもと創る授業」へシフトする。

■教職員の合言葉「子どもたちは日々、予測困難な未来に向け成長している」

②業務改善（やりがいが高まる働き方改革）

・新型コロナウイルス感染症への対応を継続しながら、学校の当たり前を問い直し(時間の使い方・空間の使い方・道具の使い方・資料の作成と利用方法・学校行事やスケジュール等)、ICT や外部人材等の活用も含め、大胆な発想で時間・コストを抑え、効果を最大にするよう努め、働き方を見直す。その結果、「子どもと向き合うことに焦点化された教育活動の時間を確保」し「教職の魅力を再発見」することにより、フィジカル・メンタル両面での健康を獲得する。

③地域と共に歩む学校（コミュニティ・エリア構想の実現へ）

・保護者・地域（場合によっては児童も）が当事者となり、合意形成する学校の創造。（学校経営方針の共有や各種事業への理解・協力）  
・学校ブログ、学校だより、各種たより、新聞社等報道機関の効果的な活用による広報活動の戦略的展開

## ■危機管理の合言葉

「胸騒ぎの感性を磨く」：継続

「大きく捉えて小さく収める」（最重点は個人情報保護）：継続

「見逃し三振より、空振り三振」：継続

「幼児教育部会における審議の取りまとめ」→



## Ⅲ 教育目標

(1) 本校の教育目標

◇幼・小・中の目標の系統性・関連について

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」文部科学省 2018年4月

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり  
⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現



※2「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」（平成22年11月11日文部科学省）に基づく整理。

◇本校の教育目標（=子ども像）と豊中学校の教育目標

【よく考える子】（知） ⇒ 豊中教育目標（知）【知性豊かな生徒】

・自主的に学習し、よく考え創造する子どもを育成する。

⇒基礎・基本を着実に身につけ、学ぶことに興味・関心を持ち、主体的に自分の夢や希望と関連付けながら、様々な変化に積極的に向き合い、他者と力を合わせて課題を解決していく子ども

（教えて考えさせる授業、子どもと創る授業、各種検査結果の分析、自主的な家庭学習の充実）

《目標指標 例》

①「国語・算数・理科の学習が好き」と回答する児童 各教科全ての学年80%以上

方策：思考を促す発問やアウトプットの必然性をねらった言語活動の徹底

ワークショップ型の研究協議による授業改善の推進（ブロック別が主体）

②家庭学習において「学年×10分」の実施率を、低学年においては60%以上、高学年においては

50%以上

方策：優れた家庭学習ノートの掲示や教師のコメント付記など、家庭学習ノート指導の強化  
PDCA サイクルに基づく年3回の学習・生活に関するアンケート実施による検証・改善

③各学年のNRTにおいて、前年度比からの向上を図る。

方策：1 単位時間のゴールを明確にした授業の推進（評価の観点を踏まえた学習課題の設定、課題に正対したまとめ）

子どもによる授業評価（アンケート）の定期的な実施および結果を踏まえた指導方法の改善

【明るくすなおな子】（徳） ⇒ 豊中教育目標（徳）【心豊かな生徒】

・明るくすなおで、思いやりのある、豊かな心の子どもを育成する。

⇒自己の感情を統制しつつ、他人とともに協調し、想像力豊かで他人を思いやる心や感動する心、正義を愛し、いじめを許さない心等、豊かな人間性や行動様式（スキル）を身につけた子ども（あいさつ、ピア・サポート、道徳、お礼状、いじめ調査）

《目標指標 例》

①いじめは許されない：全ての学年で97%以上

方策：学級活動や児童会活動での啓蒙、教員の研修活動

②いじめを誰にも相談できない児童数：全校で0人

方策：学校外や電話窓口を含めた相談窓口の周知を全ての学期で行う。

③学校は楽しい：全ての学年で90%以上

方策：授業で生徒指導の機能を発揮すると同時に様々な場面で仲間とつながる機会を創出する。

④自分から進んで挨拶できる：全ての学年で80%以上

方策：教師自ら範を示し、①自分から②目を見て③相手に伝わるよう、挨拶するよう日常から指導する。

【元気でたくましい子】（体） ⇒ 豊中教育目標（体）【健康（ちから）豊かな生徒】

・ねばり強くやりぬく、たくましい子どもを育成する。

⇒自己肯定感が高く、やり抜く力や健康・体力を身につけた、へこたれない子ども（ポロラン、ポロ縄、新体力テスト、外遊びの充実、表彰伝達）

《目標指標 例》

①最後までやり遂げてうれしい95%以上

方策：授業を中心として、個別に最適な課題・役割を準備

②自分に良いところがある(低学年85%以上、高学年70%以上)

方策：日常的な観察を通した「ほめ言葉」の実践。

③新体力テストの数値が全道平均以上

方策：体力向上プランの策定と実践、体育科の授業の工夫と運動の日常化（休み時間の活用）

## (2) 求める各々の像

### ①豊中学校区の目指す子ども像

中学校区が目指す子ども像

「大人になること」「働くこと」に憧れを抱く子ども



高校や社会への接続  
(自立・自律・成熟)

### ②目指す学校像

#### 【幌向小学校】

- 子どもたちの笑顔があふれ、元気な挨拶を交わす学校
- 教師が安心して働き、自己の資質・能力を高める学校
- 保護者や地域の負託に応え、地域の意見に耳を傾ける学校 (コミュニティ・エリア構想)

#### 【豊中学校】

- 生徒に学ぶ喜びと感動を生み出す学校
- 家庭や地域に開かれ、連携して教育する学校
- 教職員の創意と活力の張る学校

### ③目指す子ども (児童・生徒) 像

#### 【幌向小学校】(継続)

- よく考える子 <知>
- 明るくすなおな子 <徳>
- 元気でたくましい子 <体>

#### 【豊中学校】

- 自主的に探究する生徒 <知>
- 思いやりがあり心豊かな生徒 <徳>
- 共に汗する心身ともにたくましい生徒 <体>

### ④目指す授業像 (幌向小学校)

- ・子どもの声がひびく授業  
～「子どもと創る授業」の具体を共有し、校内研修等を通じて互いに磨き合う授業～
- ・一方的な講義型の授業から脱却し、子どもの発想や思考を生かす、ファシリテーター型の授業

### ⑤目指す教師像 (幌向小学校)

- ・「知識の伝達」(ティーチャー)にとどまらず、コーチ、ファシリテーター、コーディネーターであり、子どもの成長を第一義に考える教師 ・児童に寄り添い共感し、成長を支援する教師
- ・「教える専門家」であると同時に「学ぶ専門家」である教師
- ・働き方を見直し、自分の生活も充実させ、心身ともに元気に子どもに向き合える教師

\*この他、北海道における教員養成指標と自己目標シートとの連動 ⇒



### ⑥目指す教頭像

- ・教育目標の具現化のため、教職員の力を引き出し、まとめる教頭
- ・学校内外の情報を掌握し、適切に判断する教頭
- ・子ども、保護者、地域の方々に明るく接し、信頼と安心感を与える教頭

### ⑦目指す校長像

- ・進むべき方向を指し示すことのできる校長
- ・物事を決断する校長
- ・決定したことと結果に責任を持ち、子ども・保護者・地域に説明する校長

### ⑧目指すPTA像 (R3 幌向小学校 PTA 役員会策定)

- ・子どもと学校のために動く PTA

- ・共に励み、繋がるPTA
- ・見守り育てる幌向地区のサポーター

#### IV 実態

##### (1) 児童の課題

- ①学習 読解力に課題、下位層が多く上位層が少ない 家庭学習習慣の二極化
- ②体力 よく体を動かす子どもとそうでない子の二極化、投運動や巧緻性に課題
- ③生活 明るく素直な一方で、あいさつに課題があり、高学年は自己肯定感もやや低い。

##### (2) 地域・保護者の様子

- ・岩見沢市の西端地区として合併した旧栗沢町・北村及び江別市に隣接し、校下は市街地区・北地区・南地区を中心に、中幌向町・お茶の水町・栗沢町北斗の一部を包含する。
- ・平成3年ころから住宅・人口も増加してきたが、最近では宅地造成も落ち着き、人口も変動が少ない中、児童数は減少傾向となってきた。また、従来の農村地帯というイメージは影を潜め、郊外型の住宅地域となっている。
- ・校区内をJR函館本線、国道12号線が走り、札幌市・江別市などの生活圏に組み込まれてきているように、交通の利便性がある一方、交通事故や防犯などに対しても、配慮していくことが重要である。
- ・保護者の職業は会社員・公務員などを中心に多岐にわたり、経済的状況や保護者の価値観も多様化してきている。家庭や地域の教育への関心は高く、学校の教育活動に対しては概ね協力的である。

#### V 子どもが輝く岩見沢の教育づくり「岩見沢市学校教育推進に向けた6つの重点項目」に沿った具体的な施策

##### **R5 重点**

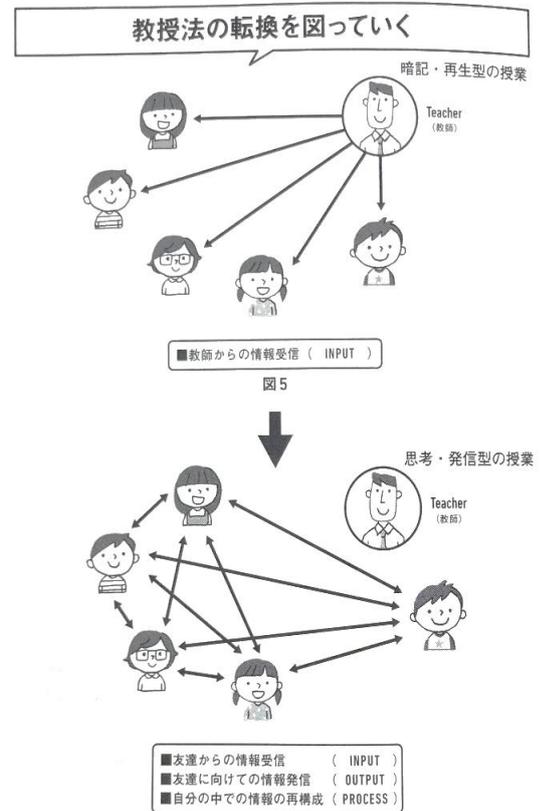
- ・「あいさつ」の取り組みの具体化
- ・お礼状を核にした、書く指導の充実と地域との結びつきの深化

##### 1. 新しい時代に対応できる力の育成

(1) 子どもが主人公になる「授業づくり」の推進（授業観・指導観の転換）

- ①「主体的・対話的で深い学び」を通した確かな学力の追究

- 「教科書を教える」から「教科書で教える」へ
- 導入や振り返りの工夫で、学びを「自分事」へ（主体的）
- 帛向スタイルの確立で、見通しをもって、粘り強く取り組む力を育てる。（主体的）
- 必然性をもったペア・グループ活動（対話的）
- まとめや表現、振り返りを通じて知のネットワーク化をめざす。（深い学び）



- ②「教えて考えさせる授業」の理念を基盤とし、身に付けるべき資質・能力を明確にした「子どもと創る授業」への展開
- 理解深化問題の追求
  - 評価の観点「主体的に学習に取り組む態度」についての評価法の研究
  - めあて、課題のあり方についての研究
  - 振り返り（リフレクション）のさらなる研究
  - 集団解決場面でのインタラクション（相互作用）の活性化
  - 評価・評定の研究 一あゆみの観点別評価形式の完成
  - 教師がファシリテーターとなり、子どもの声が響く授業
- ③「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく仲間づくりの強化
- ピア・サポートの実践的な活用と教務による実施のチェック、効果の検証（児童アンケート、Hyper Q-U）
  - 指導資料の蓄積と記録
- ④「学習スキル・ルール」の向上による「学びの形成」を高める授業の推進
- 豊中学校との共同研究の継続（小中接続・一貫）

## （2）「組織体」としての学校の力を高める取組の一層の推進

- ①GR-PDCAのカリキュラム・マネジメントに基づく教育課程の工夫・改善
- 各種調査結果やデータ等に基づく、学校課題に対応した Ph.P 手法の確立とゴールの設定
  - 教育課程委員会の定例化（ビジネスチャット/校務支援システムの活用による効率化と負担軽減）
  - 分掌の機能化(Web アンケート等を活用した作業の効率化を含む)
  - 新学習要領完全実施における検証
  - カリキュラムユーザーからカリキュラムメーカーへ（教育課程朱書きの提出）
  - 学校教育目標実現に必要な教科横断的な視点による指導計画等の作成（一覧作成）
  - 教育課程の実施に必要な人的または物的教育資源の見える化→教育課程に明記（位置付け）
  - 教務による時数集計方法検討

### ◎各部、学年・学級その他による手段・ゴール設定

※G：Goal（目的）→R：Research（現状）→P：Plan（計画）D：Do（実行）→C：Check（評価）→A：Action（改善）

- ②「学校づくり＝授業づくり」の視点に立った「学び続ける学校」への組織的な改善
- 教務・研修および学年・学級による NRT 等の学力現状分析と数値目標の設定及びその達成に向けた手段（具体策）の実施
  - 生活に係る項目等、各部による各種数値目標の洗い出しと共有、検証サイクルの確立

(3) 小中が一貫した学力向上の取組の推進

①標準学力検査、全国学力・学習状況調査による検証

検査・調査結果及び分析・改善方策に係るデータの共有

学力向上プランの策定と実施、見直し

②コミュニティ・エリアにおける義務教育 9 か年を見通した組織的な学力向上の取組

小中連携委員会による年間を通じた取組 ※事業ごと、担当の割り当てを行う

中学校区で統一した学力向上の取組の実施→豊中テスト期間と連動した家庭学習強化週間の設定

チャレンジテスト結果の活用と

9年間を見通した親和的集団づくり（ピア・サポート）の推進

長期休業中の学習会の推進

高学年を中心として、授業参観日に豊中管理職を招聘し、入学への

③小中学校の円滑な接続に向けためざす子ども像の共有

「岩見沢市豊中学校区経営方針」の毎年の見直しと理念の共有

児童情報引き継ぎ業務の円滑な推進

特別支援教育の連携

(4) ICTの効果的な活用と情報活用能力を高める教育の推進

①GIGA スクール構想による一人一台の端末を活用した授業づくりの推進

校内研修への位置付け、担当者の専任

実践事例のデータ化と活用

②授業のハイブリッド化に向けた日常授業の実践と授業づくりの推進

研修テーマへの位置付け

コロナ禍における出席停止・学級閉鎖等に備えた準備と、ハイフレックス型授業の実施

※ハイフレックス型：同じ内容の授業を、対面とオンラインで同時に行う授業方法

(5) 外国語指導助手（ALT）の積極的な活用による英語が使える岩見沢の子どもの育成

外国語・外国語活動授業における ALT の積極的な活用と、ペアワーク・グループワーク等による、英語でのコミュニケーション時間の確保

英語検定受検斡旋の取組（受検の推奨、中学校との連携）

(6) 北海道教育大学岩見沢校との連携を図った効果的な教育活動の推進

各教科等に係わる出前授業での活用

むいむい活用事業（他校の学校キャラクターとのコラボなど）

(7) 「学び・心はぐくむ学校活動支援事業」を活用した学校力及び学力の向上

教育課程に基づいた、年度当初段階での起案の推奨及び実施後の効果の検証

2. 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進

(1) 子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進

①支持的・親和的な人間関係を育む「ピア・サポート」の全校的な取組

- 計画的なピア・サポートの取組（教育課程に位置付け）
- 職員のピア・サポートの実施⇒指導員の招聘

②子どもを理解し、心に寄り添う日常指導の充実

- 子どもを徹底して大切にする日常指導の定着と継続  
（呼び捨てにせず敬称をつける、冷たい対応をしない、事後フォローを計画的に行う等）

③ふるさとに愛着と誇りを持つ「ふるさと教育」の推進

- 全体計画および学年別計画の完成
- ほろむい獅子舞の継続と発展（3年）
- ほろむい学の確立と中学校との接続（炭鉄港を組み込む）
- JR、地元スーパー等との連携（SDGs）

④命を大切にし、豊かな人間性・社会性を育てる「心の教育」の推進(道徳教育の充実)

- 道徳科の校内研修……推進教師による研修実施、参観日等での保護者・地域への公開
- 自己肯定感を高める活動の推進
- 委員会活動・縦割り班活動の工夫
- 表彰伝達の工夫（ブログ活用）
- 報道機関の活用による地域への情報発信

(2) 豊かな感性と創造力を育む読書活動（一斉読書、家読）の充実

- 読書活動の継続（朝読書、ブックトーク）
- 学校図書館運営の改善と充実
- 国語科での取組（6年生から1年生への絵本づくり、読み聞かせ）

(3) 新体力テストによる体力の実態把握と体力向上の取組、9か年を見通した運動の習慣化

- 新体力テスト結果を踏まえた「体力向上プラン」の策定と見直し
- 体力向上に関わる中学校・大学との連携（出前授業等）や一校一実践（縄跳び等）の推進

(4) 子どもに望ましい習慣を育む「家庭での5つの約束」を基本とした取組の推進

- 各種媒体や会合での啓発活動の充実
- 長期休業中の家庭での取組への啓発等

「家庭での5つの約束」(岩見沢市教育委員会)

ア 早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけよう

イ 次の日の学習準備をしよう

ウ 家庭学習を毎日しよう ・帰宅後の学習習慣を身に付ける ・宿題、予習、復習をする

エ 読書に親しもう

オ 家族との会話を大切にしよう

(5) 自らの判断で命を守ることができる力を育成する健康・安全教育の推進

- 各種訓練の充実
- 総合防災教育計画の策定と見直し

水害訓練の充実

### 3. 育ちと学びを支える教育環境の充実

(1) 「岩見沢市いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対応の充実

- 児童会による取組の継続（いじめ防止標語等）
- 児童会と連携した学校キャラクター「むいむい」の活用や縦割り班活動によるいじめ防止
- 校内委員会の開催
- いじめの積極的認知と組織対応による解消率 100%の推進

(2) 「教育支援センター」と学校との連携によるいじめや不登校、悩み不安を持つ子どもや保護者、学校への支援の充実

- 不登校にならない親和的集団づくりへの取組（ピア・サポート）
- 市教委主催の催しへの職員派遣
- 相談員・スクールカウンセラー・SSW との日常的な連携・相談活動と研修講座の依頼

(3) 子ども一人ひとりの能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実

- 児童の成長を育む教育課程の編成
- 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の充実
- 通級による指導や特別支援学級の意義の明確化
- 合理的配慮の提供
- 交流及び共同学習の充実
- そだちのスタートシートの整備
- 中学校等への引き継ぎの強化
- クチトレへの参加推奨

(4) 将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の推進

- キャリア教育の教育課程への位置づけ（総合的な学習の時間）
- 豊中学校との連携・接続
- ほろむい学（総合的な学習の時間・生活科）の実施と豊中との円滑な連携・接続

(5) 子どもの学ぶ場と機会の提供（S・Eスタディ、土曜英会話、学び合い広場等）

- 長期休業中の自学プラザ(学習会)の実施
- 豊中学校と連携した漢字検定、英語検定への取組
- 教育委員会主催事業の周知活動と斡旋

(6) 教育研究所の調査・研究及び養成・研修機能の拡大・強化

- 計画的な教育研究所主催の研修への職員参加
- 指導案集の活用（研究所所蔵）
- 学習動画の視聴（作成の参考に）
- 研究所施設・設備（新体カテスト用具等）の活用

(7) ライフステージとキャリアステージに応じた資質・能力の養成による「教えるプロ」の育成

研修会参加奨励（外部へ年 1 回以上）

校内研修の充実

校内研究課題のほか、年度初めの確認事項（学習規律、成績評価、授業方法、安全対策等）

校内研修における、校外研修内容の還流コーナーの継続と充実

若手教員育成の仕組みづくり（西ブロック）

職員全員の自己目標シートに見える化と不断の見直し（校長室掲示）

管理職による日常的な授業参観とフィードバック

「北海道における教員育成指標」をもとにした、教員一人一人の資質能力の向上を目指した取組

(8) コミュニティ・エリア単位での特色ある学校づくりや適正な規模による学校教育の充実のための  
小・中一貫教育と学校適正配置計画の推進

小中連携・接続委員会の定例化と充実

学校運営協議会・保護者・教職員からの評価に基づいた学校改善の実施

ほろむい学（総合的な学習の時間・生活科等）の充実・発展

#### 4. 信頼と期待に応える開かれた学校づくり

(1) 子どもを徹底して大切にする教育に資する「学校における働き方改革」の充実

成績評価の二期制検証

校務支援システムの運用および効果的な活用に関わる検証

職員会議の見直し（持ち方、時間、時期、回数、資料配付の時期と方法）

旅行的行事の系統化と見直し

組織改編による業務量の平準化、分掌内係業務の統廃合

新たな課題（LGBTQ、がん教育、観光教育など〇〇教育）への対応

体力向上に関わる年間プランニングシートの作成による見える化

ペーパーレス化の推進（職員会議の議題、係提案資料の蓄積およびデータ化等）

学習指導員、スクールサポートスタッフの効果的・計画的な活用

外部人材の登用（学生含む）

デジタル化等の検討（各種プリント PDF 配布、家庭環境調査等データ配付、メールアプリによる  
欠席遅刻連絡、各種アンケートネット実施等）

校務支援システム C4 t h と CHATWORK、ネットワークフォルダ（校内 LAN）の棲み分け

「学校の 5S」着手による業務改善（1 整理 2 整頓 3 清掃 4 清潔 5 しくみ）

（R5 年度 未整理な空間の改善）

(2) 未来を生き抜くために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の着実な実施

学校運営協議会でのコミュニティ・エリア代表(委員)への学校経営方針説明

全校集会などでの児童への学校経営方針説明

P T A 総会、懇談会での保護者に対する学校経営方針説明

青少年育成連絡協議会等、地域における学校経営方針説明

グランドデザイン保護者・地域配布

学校ブログのより一層の活用(情報の発信)

外部人材の一覧作成と教育課程への記載

オンラインで活用可能な人材の発掘と登録

- 保護者説明会の有効活用
- 各種行事への協力要請
- 地域行事への職員参加
- 学校評価項目の見直し
- アンケートについての見直し（効果を踏まえた回数・望ましい方法等）
- 学校評価の実施・集約方法の工夫（Web 回答等）と実施方法のマニュアル化
- 民生児童委員との懇談・授業参観の充実

（３）学校・家庭・地域が連携・協働した「中学校区学校運営協議会（コミュニティ・エリア）」の推進

- 令和５年度豊中学校区学校運営協議会での実施事業の計画的な推進及び情報発信

（４）学びの連続性を実現する教育活動の推進（保・幼・小・中・高・大の連携）

- 豊中による進路・入試説明会の実現
- 「とことん」や幼稚園との連携強化  
（認定こども園等の参観、認定こども園等からの授業参観、スタートプログラムの研修等）
- 出前授業の実施と推進
- 緑陵高校との連携
- 大学との連携（出前授業等）

（５）子ども安全・安心を確保する取組の継続（学校・地域連携）

※危機管理の合言葉(再掲)

「胸騒ぎの感性を磨く」:継続

「大きく捉えて小さく収める」（最重点は個人情報保護）:継続

「見逃し三振より、空振り三振」:継続 <救急車、警察への連絡をためらわない>

- 安全まもり隊、青少年育成協議会との連携、情報交換
- 個人情報保護の一層の推進（事故防止）⇒規定の再確認（手渡し、複数対応、面前確認）
- 各種便り、ブログ記載のためのプライバシーポリシーの作成
- 一斉メールの複数職員の操作
- 情報セキュリティ対応（個人 USB の持ち込み禁止）
- 引き渡し訓練の実施（一学年）、課題検証
- 各教室に虫網配置(ハチ対策)
- 一斉メール100%加入（職員も）
- 書類廃棄のサイクル、期間の係への位置づけ（参考一生活係の安全点検）
- 児童アンケートの自由記載欄について回答  
（配布物の配布方法と削減の検討、回収物の回収方法の検討、日報「むいむいの朝」の配布方法検討、情報データ共有化『教材データ、学級だより、など』、ボランティアの募集、教材教具の管理・保管（5Sと連動）

5. 緑陵高等学校の教育の充実

- 保・幼・小・中・高・大の連携の一環としての、緑陵高校との連携(出前授業・学校見学等)

## 6. 学校給食の充実

□食育指導の充実

# Ⅲ 各種評価結果と改善策

## 1 今年度の方向性

今年度、「豊中学校区学校運営協議会」を継続深化させ、コミュニティースクール構想（以下 CS 構想）が動き出した。昨年度から学校評価の目標として、①中学校区全体で同じ評価項目にすり合わせ、9年間見渡せる評価項目とする、②運営協議会の中で評価結果を公表し、地域の方からのご意見を受け、次年度の活動目標としていく、という2点を確認するとともに、学校評価を次年度の学校経営へ課題として全職員が意識できるよう取り組みはじめた。また、評価項目の「学校が楽しい」という項目を「学校は居心地が良い」という項目へ変更した。以下、今年度の学校評価結果である。（別紙）

## 2 課題と改善方策

<2024年1月16日（火）職員会議>

学校評価を職員での交流を行った。本校の課題として

- ・基礎基本的な力とは何か、子どもたちに確実に伝える方策の検討と授業作り。（評価項目3）
- ・保護者と連携した家庭学習習慣目安時間の浸透。（評価項目4）
- ・「夢をもつことができる」と答えた児童数の低下から、総合的な学習の時間をいかした「ホロムイ学」のカリキュラム作り（評価項目5）
- ・テレビや動画視聴、ゲーム時間など学年があがるにつれて増えている。それに伴い体力の低下が懸念されている。（評価項目13）

本校の分掌グループ（教務、研修、指導、保体）に重点目標に取り込むことを確認している。重点目標の中に、課題を意識した項目を挙げることで、年間を通して職員が達成にむかうことができるよう意識した。全体での交流を行えていないが、新年度すぐに交流する予定である。

<2024年2月21日（水）第4回豊中学校区学校運営協議会>

学校評価項目をもとに協議会の委員のみなさんにもご意見をいただいた。項目に対しての質疑・応答が大半であった。その中でも共通認識に至った部分は以下の通りである。

- ・改善を図るときに、どの数値の改善を目指すのか明確にした方がよい。（ネガティブな部分の底上げかポジティブの中でも、より中間層から上位層を目指すのか。）
- ・地域との連携による学校の在り方の検討と生かした学校目標の設定。

校内教職員だけでは解決できない部分も、学校運営協議会の皆様を橋渡しに地域・家庭へ働きかけていけることが可能であるということが確認された。

中学校と項目を合わせ、9年間を通して子どもたちの変容を学校評価として捉えることが可能となった。今後、学校内だけの学校評価をもとにした改善の方策を検討することなく、地域とともに改善を進めることができるよう取り組んでいく必要がある。

令和5年(2023)度

学校(自己)評価報告書

岩見沢市立豊中学校

## ◇学校の概要

校長名	竹内 結美				教職員数		26名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	2	1	1				3	6
児童数	45	37	40				5	131
住 所	岩見沢市幌向南2条1丁目							
電 話	0126-26-2004							
FAX	0126-26-2552							
UR-L	<a href="http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/gakkou/gakkoui">http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/gakkou/gakkoui</a>							
e-mail	yutakac@edu.hamanasu.com							

## I 学校教育目標

### I 本校の教育目標

三つの豊・・・知性豊かな生徒 / 心豊かな生徒 / 健康(ちから)豊かな生徒

## II 中期と単年度の具体的目標

### I 本年度の経営方針

#### ■学校経営の基本方針

#### 目指す学校像

地域・保護者との連携の下、生徒の Well-being を実現する学校  
～希望をもって登校し、充実感をもって下校できる学校～

#### 目指す生徒像

- ・「学ぶ楽しさ」が分かる生徒
- ・自己を知り、他者を理解できる生徒
- ・課題に柔軟に対応し解決できる生徒

#### 目指す教師像

- ・「生徒」を主語にした教育活動を創造する教師
- ・生徒や保護者、同僚に信頼される教師

#### 身に付けさせたい資質能力

- ・自分の考えをもつ力
- ・考えを表現する力
- ・自他を大切にできる力
- ・失敗に負けずチャレンジし続ける力

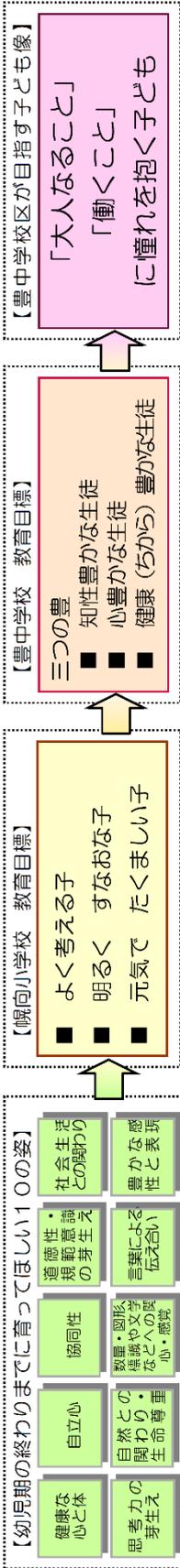
#### 心がけたい基本姿勢

- ワークライフバランスをベースに、
- ・つなぐ～風通しをよくする
  - ・つかむ～風を読む
  - ・つかう～追い風を利用する

# Ⅲ 各種具体的計画

別紙「学校経営グランドデザイン」参照

## 令和5年度 岩見沢市立豊中学校 グランドデザイン



### 令和5年度学校経営方針

#### 学校経営の基本方針

＜目指す学校像＞  
**生徒と教職員のWell-beingを実現する学校**  
 ～希望をもって登校し、充実感をもって下校できる学校～

＜研究主題＞  
**深い学びを実現する授業の創造**  
 ～小中連携で取り組み探究活動を通して～

＜目指す教師像＞  
 ・「生徒」を主語にした教育活動を創造する教師  
 ・生徒や保護者、同僚に信頼される教師  
 ・自己研鑽し続ける教師

＜心がけたい基本姿勢＞  
 ワークライフバランスをベースに、  
 ・つなぐ～風通しをよくする  
 ・つかむ～風を読む  
 ・つかう～追い風を利用する

#### 基本方針を踏まえた取組

1 授業改革の推進  
 ★「ほろむいスタイル」の確立  
 ・道徳の時間、総合的な学習の時間の充実  
 ・校内研修の充実

3 家庭・地域等との連携・信頼関係づくり  
 ★「コミュニティ・エリア構想」における豊中学校区で  
 目指す子ども像の実現に向けた具体的な取組の推進  
 ・情報の共有  
 ・家庭・地域・外部機関の積極的な活用

4 組織的な学校運営を通じた働き方改革の推進  
 ★R5の重点  
 ・企画委員会と各部・係の機能化  
 ・WB45を活用した働き方改革の確実な推進

#### ▽▲▽ R4 学校評価から明らかとなった課題 ▼▲▽

＜学力＞  
 ○基礎的・基本的な学力の定着  
 → 生徒の評価(%) : D・3・C11  
 保護者の評価(%) : D10・C18  
 ○家庭学習習慣の定着  
 → 生徒の評価(%) : D・9・C42  
 保護者の評価(%) : D18・C28

＜生徒指導＞  
 ○楽しく通学  
 → 生徒の評価(%) : D・2・C11  
 保護者の評価(%) : D10・C・9  
 ○将来についての考え  
 → 生徒の評価(%) : D・3・C21  
 保護者の評価(%) : D12・C24

○規則正しい生活  
 → 生徒の評価(%) : D10・C38  
 保護者の評価(%) : D17・C37  
 ○悩みや相談に対する教員の姿勢  
 → 保護者の評価(%) : D・3・C22

＜学校経営＞  
 ・教育方針の共有  
 → 保護者の評価(%) : D・3・C12  
 ・保護者や地域の願いを反映した特色ある学校づくり  
 → 保護者の評価(%) : D・3・C27

#### 岩見沢市の教育 岩見沢市教育行政方針

一子どもが輝く岩見沢の教育づくりー

ー「よい地域」には「よい学校」があり、「よい学校」をつくることで、「よい地域」が形成されるー

・ 日本国憲法 ・ 教育基本法 ・ 学校教育法 ・ 学習指導要領 ・ 北海道教育推進計画 ・ 空知管内教育推進の重点

## IV 各種評価結果と改善策

### 1. 実施計画

本校の教職員による観点ごとの自己評価及び、Googleフォームによる保護者・生徒アンケート調査を実施した。結果は本校の実践の重点に基づく今年度の取組について分析し、各分掌・学年部会での課題についての協議を踏まえ、来年度に向けての改善方策について職員会議に提示、議論して共有した。また、今年度より小中接続の視点から、アンケート項目を統一し、実施した。

(1) 評価時期 11月下旬

(2) アンケート項目・評価基準について評価の指標（4段階）

4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない

### 2. 回収率

生徒アンケート 対象者120名/回答者113名 回収率94%

保護者アンケート 対象者105名/回答者69名 回収率66%

### 3. 評価のまとめ

教職員自己評価、生徒・保護者アンケートから、令和4年度の教育活動について、多くの肯定的なご意見をいただいた。

#### ■成果（主な改善項目）

○生徒の学力・努力の適切な評価

→R4 保護者の評価(%)：A38・B46

R5 保護者の評価(%)：A44・B53

○生徒の悩み・相談への向き合い

→R4 保護者の評価(%)：D 3・C22

R5 保護者の評価(%)：D 2・C10

○保護者や地域の願いを反映した特色ある学校づくり

→R4 保護者の評価(%)：A19・B51

R5 保護者の評価(%)：A42・B46

(生徒の「そう思わない」が0%となった項目)

○学校の居心地は良い

○道徳の時間の考えの交流を通じた自身の考えの深まり

○行事・生徒会活動への積極的参加

◎集団のきまりの遵守

○正しい挨拶・言葉遣い

◎望ましい人間関係づくり

○安全に気を付けた登下校 ※全13項目中7項目（R4◎のみ）

#### ■課題

○学習への意欲

→生徒の評価(%)：D 6・C13

保護者の評価(%)：D17・C31

○基礎的・基本的な学力の定着

→生徒の評価(%)：D 1・C13

保護者の評価(%) : D14・C29

○家庭学習習慣の定着

→生徒の評価(%) : D16・C38

保護者の評価(%) : D17・C39

○将来についての考え

→生徒の評価(%) : D 2・C17

保護者の評価(%) : D14・C31

○悩みを打ち明けられる人の有無

→生徒の評価(%) : D 7・C19

保護者の評価(%) : D 8・C14

○規則正しい生活

→生徒の評価(%) : D13・C37

保護者の評価(%) : D27・C42

## V その他

生徒・保護者アンケートの集計結果と分析、ならびに次年度への課題と方向性を、豊中学校区学校運営協議会、保護者に公表。

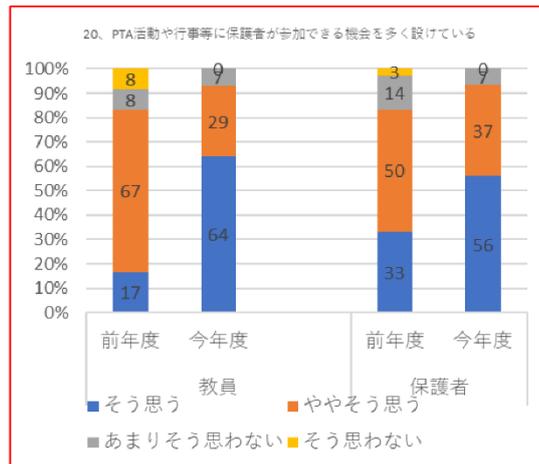
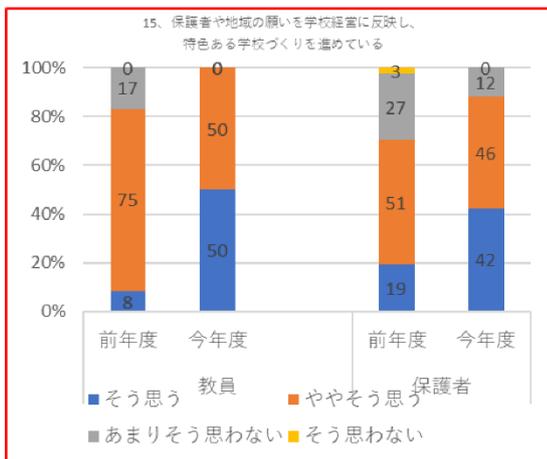
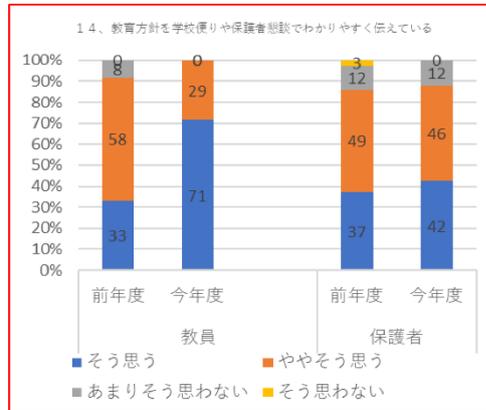
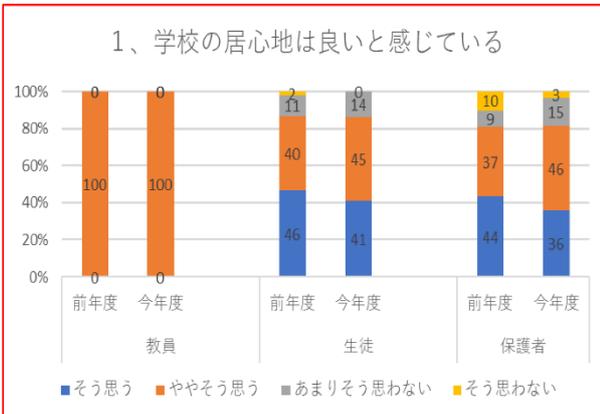
来年度も引き続き「中学校学校祭での地域の方の発表・演奏」「地域防災訓練」を学校運営協議会と共催し、学校を拠点とした地域の方の活動の幅を広げていく。

# VI 資料

## ①各部見解

### 学校評価【企画委員会】見解

#### 1. 学校評価集計結果に対する回答



#### 回答

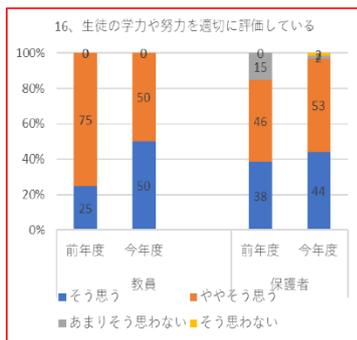
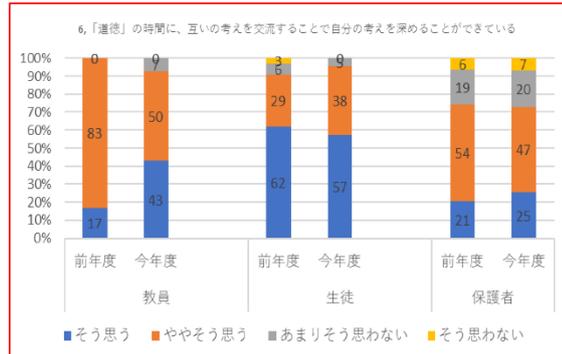
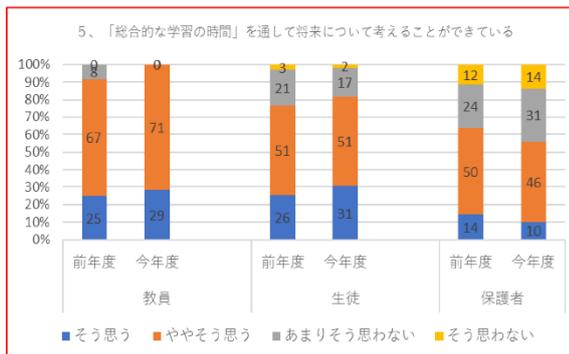
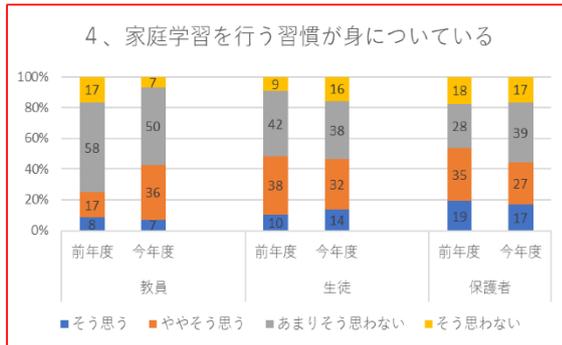
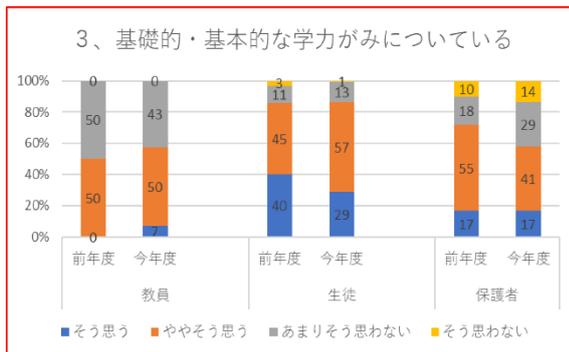
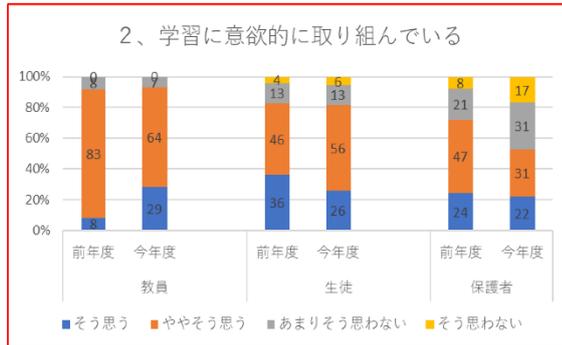
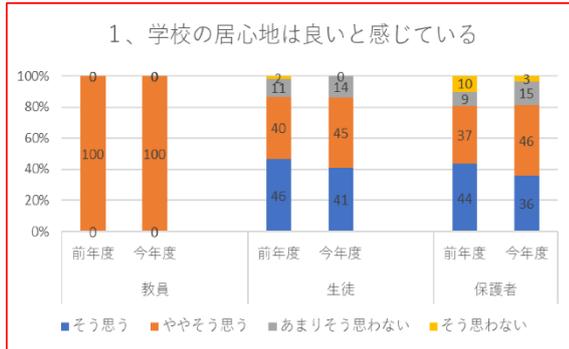
二者（三者）で評価に乖離の見られる項目があるものの、全ての項目で肯定的評価が80%を超え、概ね満足をいただいたと捉える。

コロナ対応の変化により、行事や授業を保護者・地域に公開できたことや学校運営協議会を主体として「学校を拠点とした地域の活動」を実施できたことが肯定的評価に直結したと考える。

今後も、生徒・保護者・地域の想いや願いを学校運営に反映し、より特色のある学校づくりを進めていくことで、生徒が希望をもって登校し、充実感をもって下校できる学校にしていきたい。

# 学校評価【教務グループ】見解

## 1, 学校評価集計結果に対する回答



## 回答

・「学校の居心地」については、今年度からの質問項目となりました。三者ともに一定の評価を得ることができました。しかし、否定的な回答があることにもしっかり目を向け、学校生活の大部分を占める時間が授業であることから、ピアサポートの考え方を土台とした「ほろむいスタイル」の更なる深化を進めていきたいと考えています。

・「学習」に対する姿勢については、職員・生徒では概ね一定の評価を得ることができましたが、保護者からの評価は低い結果となりました。学校での学習の様子と家庭学習の様子のどちらをイメージして回答しているのかによって評価も変わると考えられますが、どちらにしても生徒が自ら学ぼうとする姿勢を育てる授業展開の工夫に努めていきたいと考えています。

・「学力」については、昨年度と同様、子どもと大人の評価に差異がある結果となりました。授業改善と家庭学習の充実を両輪とした取り組みが必要であると考えています。

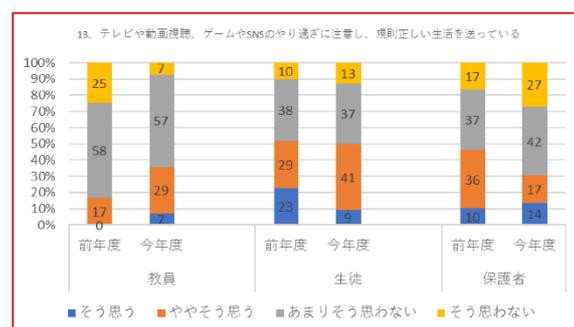
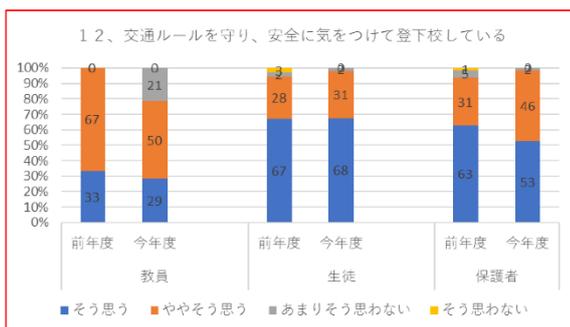
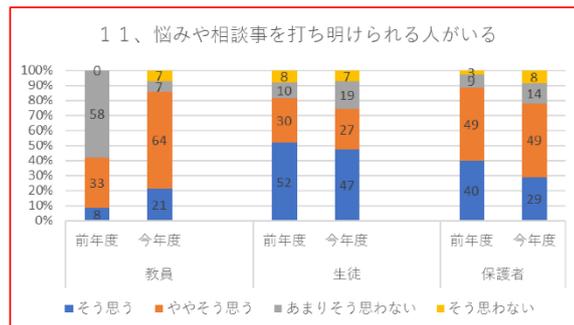
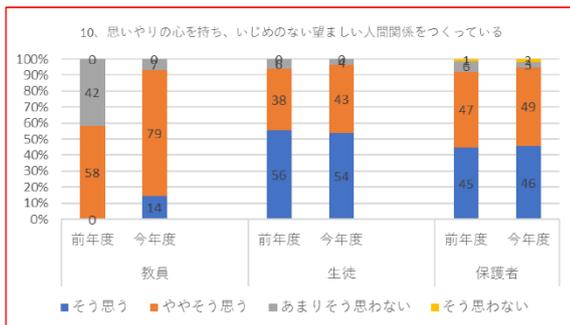
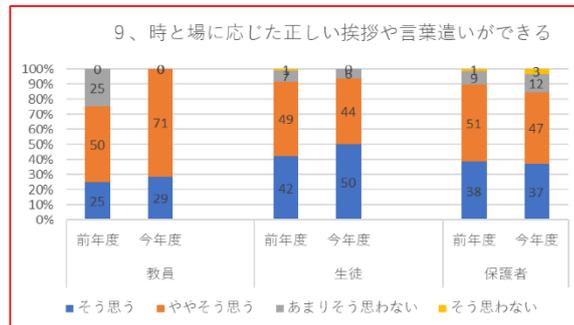
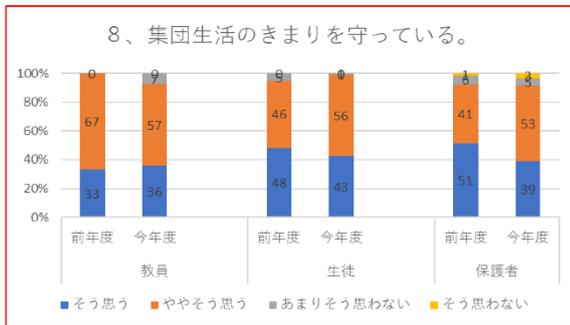
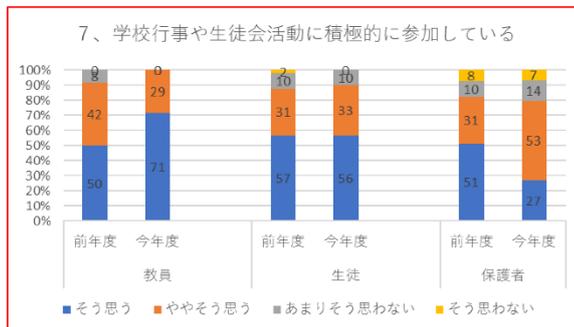
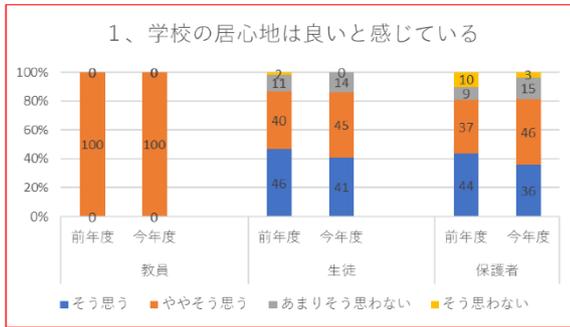
・「家庭学習」については、昨年度に続き否定的な回答が多くありました。教育相談や進路指導を通して、自分の将来に対する目標や見通しをしっかりと持たせるとともに、保護者・生徒に対する啓発をより積極的に進めていきたいと考えています。

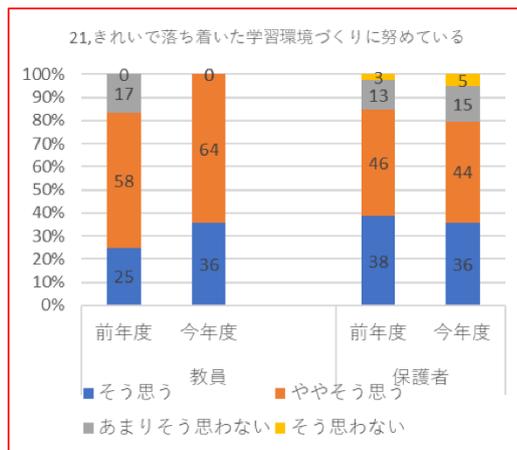
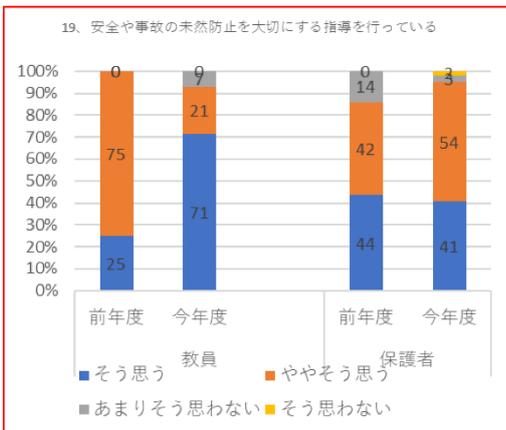
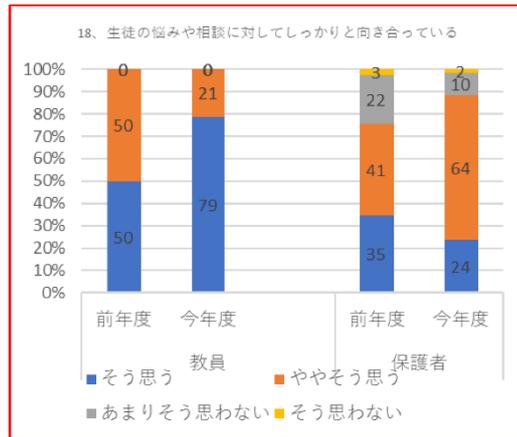
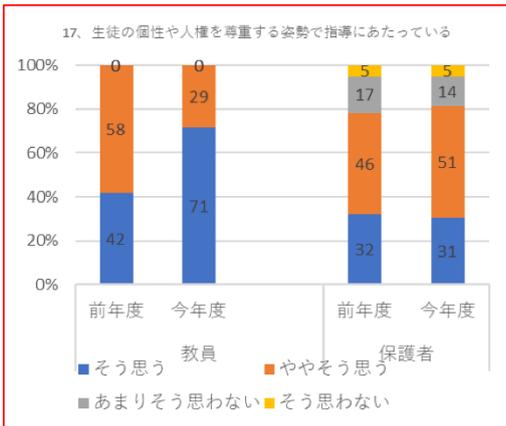
・「総合的な学習の時間」や「道徳」の時間に対する評価については、職員・生徒においては一定の評価を得ることができましたが、保護者の評価は低い結果となっています。保護者にとってはなかなか授業の実態が見えないことも考えられるため、参観日や成果発表会で積極的に授業を公開するとともに、お便り等を通して本校の取り組みの「見える化」に努めていきたいと考えています。また、高校進学を最終目標とするのではなく、自己の生き方を見つめ、これからの生涯を考えるキャリア教育へとつながる支援・指導を目指していきたいと考えています。

・「学習評価」については、概ね一定の評価を得ることができました。また、昨年度よりも肯定的な評価の割合が増えていきます。昨年度の評価・評定に関わる教職員の研修や、それに基づいた評価方法の改善の成果だと捉えています。今後も生徒の良さをより積極的に評価していくことができるよう、研鑽に努めていきたいと考えています。

# 学校評価【指導グループ】見解

## 1. 学校評価集計結果に対する回答





回答

特に昨年度よりもダウンした項目を中心に見解を・・・

7 コロナ禍での制約・制限が緩和され、本来の形で各種行事や活動が行われるようになってきた。今後も生徒が主体的に参加できるような活動を目指すとともに地域と連携した学校行事のあり方を検討していきたい。

8 学校の中で（教員集団として）足並みが揃うよう、周知徹底していきたい。

12と19 よびかけ・啓発を継続的に行っていきたい。特に安全面を考慮するのであれば自転車通学者へのヘルメットの直用についても努力義務とはなっているが、義務化する動きも検討していくなど議論も必要か

13 年々、ネット社会になってきている以上、家庭での管理・徹底がさらに必須。家庭との連携。

②学校だより

岩見沢市立豊中学校 学校だより 	岩見沢市立豊中学校 Tel26-2004 Fax26-2552 特 別 号 令和6年 2月26日 発行責任者 竹内 結美	<b>【校訓】</b> ・聡明 ・自律 ・友愛
--	--	----------------------------------

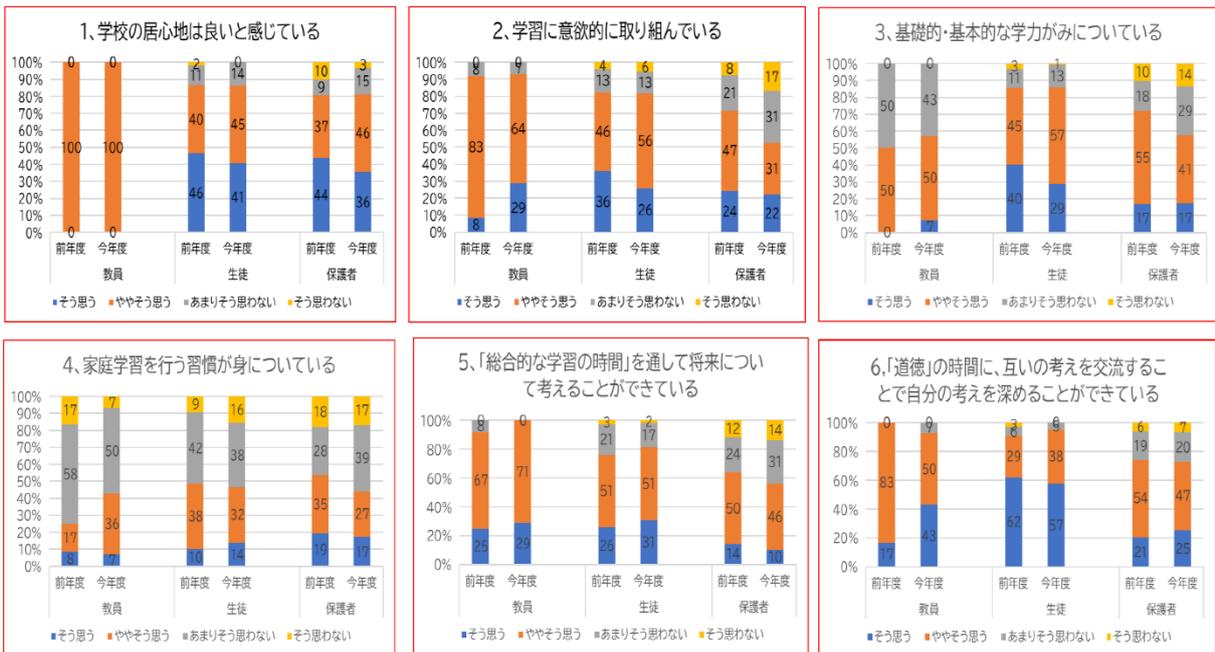
## 「令和5年度学校評価」の結果から

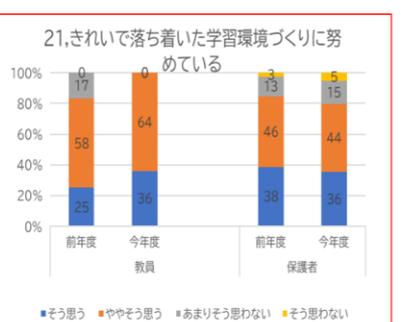
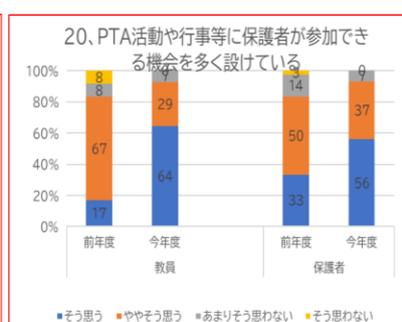
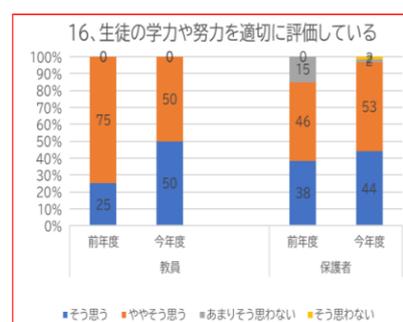
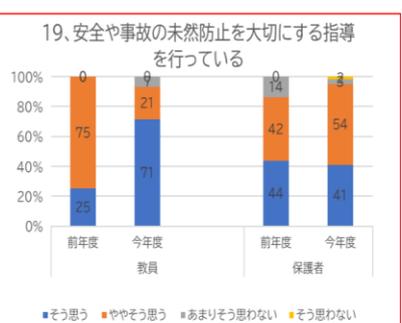
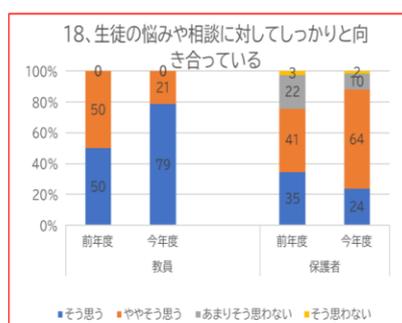
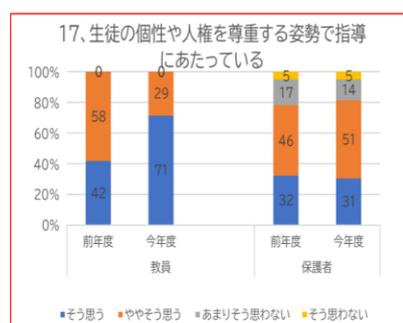
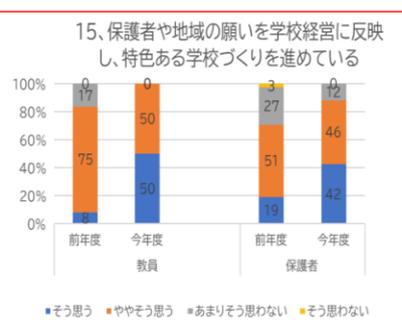
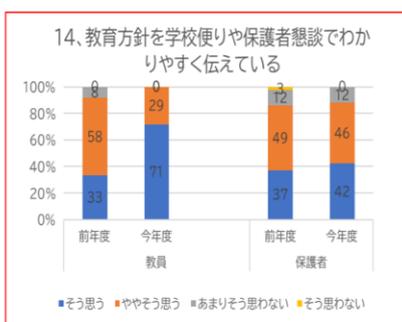
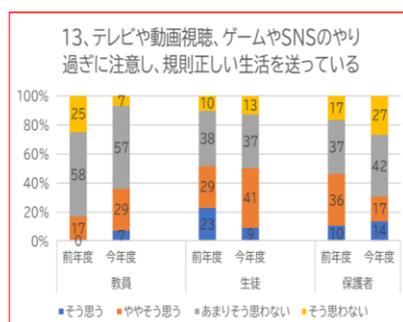
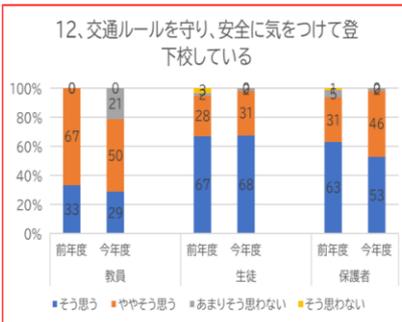
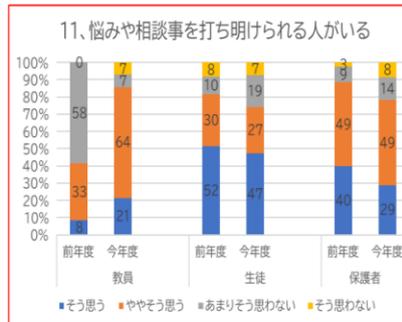
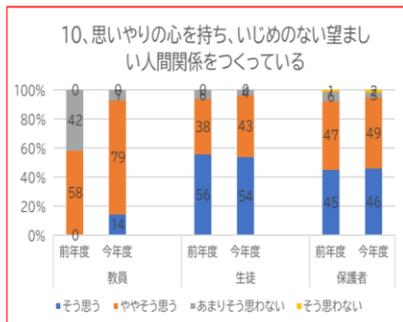
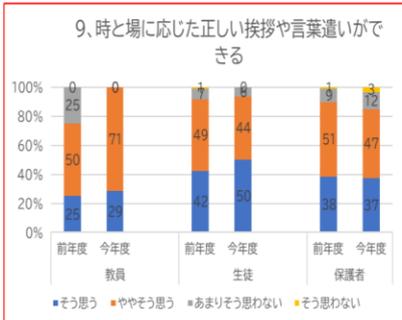
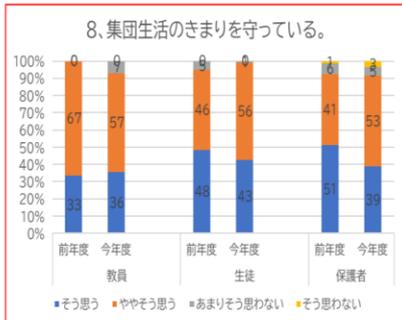
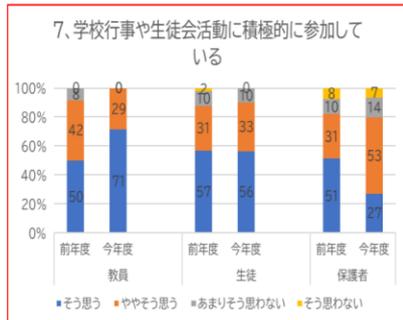
今年度の教育活動を振り返る「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。成果と課題を踏まえ、目の前の生徒たちのために、より充実した教育活動が展開できるように、今後も保護者の皆さま、学校運営協議会等の地域の方々のご理解、ご協力を賜りながら、職員一丸となって「チーム豊」・「チーム幌向」で取り組む覚悟です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 《学校評価アンケートから》

多くの肯定的なご意見をいただきました。その中でも特に、設問14、「保護者や地域の願いを学校経営に反映している」や設問20、「行事等に保護者が参加できる機会を設けている」では、コロナ対応の変化や学校運営協議会の活動もあり、昨年と比較すると飛躍的な向上が見られました。今後も、学校運営協議会を主体として「学校を拠点とした地域の活動」を実施してまいります。

また、学習や生活についても、概ね肯定的な回答を多くいただきました。今後も生徒の安全・安心を最優先に、学習意欲を高め、生徒自らが成長を実感できるような授業の工夫・改善に努めます。なお、設問4、「家庭学習」については、教育相談等を通して、自分の将来に対する目標や見通しをしっかりと持たせてまいります。保護者の皆さまのご協力もいただきたく思います。また、設問12、「交通ルール」については今後もよびかけ・啓発を継続的に行っていきますが、自転車通学者へのヘルメットの着用義務化の議論も必要と考えます。設問19、「SNS等」については、ご家庭での管理・徹底がさらに必須と考えますのでご家庭との連携を強化して参ります。





## 《自由記述についての回答と今後の対策》

一部抜粋させて  
いただいております

### ■職員・学校体制について

- ・いじめについての保護者会に参加した事があります。はっきり申し上げて、今の教育委員会のいじめについての指導マニュアルについてはまったく納得出来ていません。コロナ対策等についても疑問が多く、豊中学校ではなく、そもそも厚労省、道教委会の決定について疑問が多いため、議論の余地はないと諦めているのが正直なところです。
- ・担任制を廃止するのはどうでしょう。担任制はどうしても負担が一人に偏ってしまいます。
- ・部活については基本的には16：40までとする。留守番電話も16：40から始動させるようにするとよいのではないかと考えます。

### 【回答と対策】

様々な改革を進めているところではありますが、改革が持続可能な制度として残るよう、職員・保護者・地域との合意形成は必要不可欠と考えます。特に部活動や担任制のあり方については慎重な議論が求められます。

### ■PTAについて

- ・学校祭で子どもたちが昼食をキッチンカーで注文できたのはとても良かったです。
- ・PTA 活動は半日で終わるようにして、お弁当を注文しなくていいようにして欲しいです。飲み物だけで十分です。
- ・学級役員選出について。プライバシーの保護観点から連絡網がなくなり、保護者同士でもお互いに連絡先を知りません。新年度の学級役員さんを選出する時に苦勞しました。現在、保護者にアンケートを取り、行事のお手伝い、講演会参加など年に1度はPTA 活動に関わる形はできています。学級役員さんの仕事は茶話会運営と次期役員選出の会議に参加することが主なものだと思いますが、次期役員は学級懇談ではかれます。茶話会は教職員の時間的拘束など負担も大きいので、なくしても良いと考えます。

### 【回答と対策】

PTA 役員会で協議させていただきます。

### ■施設・設備について

- ・学校前がとても暗いので外灯を増やした方が良くと思います。
- ・校舎から道路に出るまでの街灯が少なすぎる。特に自転車置き場が真っ暗です。防犯、事故防止の為街灯を付けて欲しい。
- ・昨今の気候が経験した事がない状況が続いています。金銭的に難しいとは思いますが、冷暖房設備について、関係機関への働きかけをお願いしたいです。
- ・冬の教室の室温が寒すぎるみたいです。夏の暑さ対策も必要かと思っています。
- ・ワックスがけは教員の仕事ではない。
- ・特別教室（特に技術室と音楽室）にWi-Fi ルーターが無いので、Wi-Fi 環境が非常に悪く、授業に支障をきたしています。技術室・音楽室へのWi-Fi ルーターの設置を強く要望します。

### 【回答と対策】

施設・設備については予算要望で引き続き市教委に働きかけていきます。

エアコンは来年度設置が決定しましたが、市内全校小学校からの設置となるため、中学校は秋以降の設置になるようです。対策として、夏休み終了の時期をずらします。

### ■学習について

- ・年に数回しか使用しない柔道着は学校で貸し出してもらえるようにして欲しいです。(クリーニングして返却するようになってくれれば抵抗なく使えます)
- ・社会のワークは授業で全く使っていないそうです。物価も上がっているので、必要なものだけ購入するか、活用の仕方を伝えていただけると嬉しいです。
- ・参観日にいくとテストをしていることがありました。学校としてどのような意図で参観日を行っているのでしょうか。進捗もあるのでテストでも構いませんが、テストであるならば、参観できる時刻を知らせてほしいです。
- ・全体の平均点のグラフを見て、子どもの学力が全体的に低いように感じます。傾向は学習塾がないので親は不安です。放課後、中学校の空き教室を利用して学習塾の出張授業ができるといいなと思います。家では集中できないですし、試験対策に特化したつめこみ授業をして欲しいです。

#### 【回答と対策】

柔道着に関しては、市で一括購入してもらえよう、要望していきます。

教材教具については、家庭の負担を最小限に抑えることができるよう厳選していきたいと思います。

授業参観の内容については、豊中学校で取り組んでいる授業スタイルを見てもらうことができるよう、進捗を調整していきます。また、各教科や総合的な学習の時間の成果発表会などについては、可能な限り多くの人に見てもらえるよう呼びかけていきたいと考えています。

空き教室の活用については、現在テスト前を中心に学習会を実施しています。塾講師による補習は難しいですが、市で行っているOKスタディへの参加を広く呼びかけていきたいと思います。

### ■行事について

- ・中学校に上がると、小学校に比べて、どうしても学校との距離感を感じてしまいます。そんな中でも、歌声集会の動画配信や、授業の発表動画等を発信して頂き、学校での様子が知られて、大変ありがたく思います。保護者も参観出来る行事等は、出来る限り参加出来ればと考えています。
- ・学校行事をYouTubeで見れるのは嬉しいです。継続希望です。
- ・旅行的行事のあり方(やる・やらない含めて)を議論してみたいです。先日、修学旅行自体、今の時代に必要か?的なことをTV番組で取り上げられているのを見ました。

#### 【回答と対策】

様々な事情を持つご家庭があることをふまえて、できる限り動画配信は継続してまいります。

また、旅行的行事については、バス代の高騰が予想されていることから、目的や手段だけでなく、金銭面での負担なども視野に入れながら、引き続き検討していきたいと考えます。

### ■校則について

- ・上靴は白色で有色のラインは可などと細かく指定されているなら、はじめから学校指定の上靴にしてくれた方が迷わなくて済みます
- ・今時、髪型に対しての指導が厳しい。

#### 【回答と対策】

校則の見直しは継続的に、生徒会が主となり活動してまいります。